

資料 図表 看護補助者調査

表 1 回答者の年代 (n=1,337)

	人数	割合
～29歳	123	9.2%
30～39歳	290	21.7%
40～49歳	467	34.9%
50～59歳	384	28.7%
60～69歳	69	5.2%
70歳以上	3	0.2%
無回答	1	0.1%

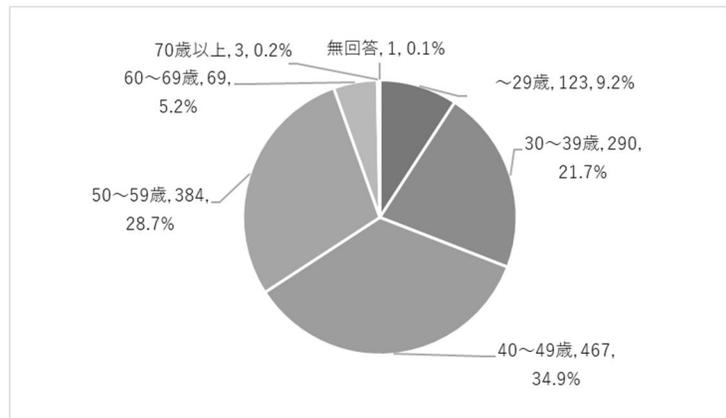


図 1 回答者の年代 (n=1,337)

表 2 回答者の性別 (n=1,337)

	人数	割合
女性	1,158	86.6%
男性	177	13.2%
無回答	2	0.1%

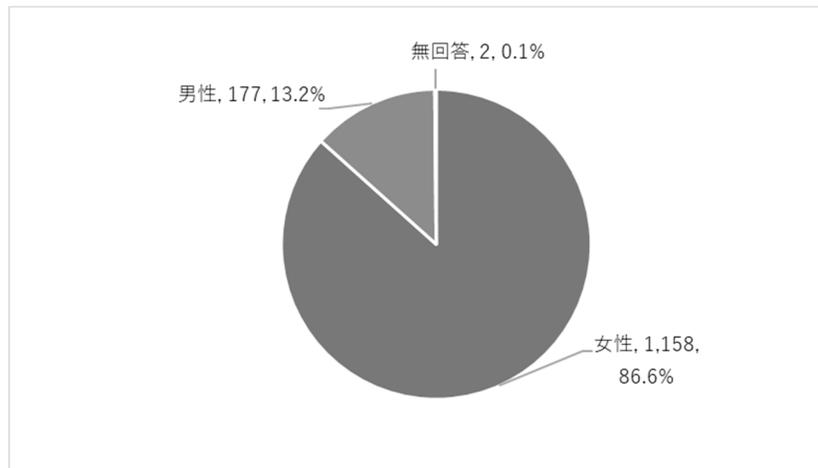


図 2 回答者の性別 (n=1,337)

表 3 勤務病院の所在地 (n=1,337)

	人数	割合			人数	割合
北海道	97	7.3%		滋賀	16	1.2%
青森	16	1.2%		京都	25	1.9%
岩手	19	1.4%		大阪	75	5.6%
宮城	22	1.6%		兵庫	55	4.1%
秋田	8	0.6%		奈良	17	1.3%
山形	13	1.0%		和歌山	16	1.2%
福島	20	1.5%		鳥取	6	0.4%
茨城	27	2.0%		島根	19	1.4%
栃木	17	1.3%		岡山	44	3.3%
群馬	23	1.7%		広島	35	2.6%
埼玉	62	4.6%		山口	29	2.2%
千葉	49	3.7%		徳島	6	0.4%
東京	96	7.2%		香川	10	0.7%
神奈川	76	5.7%		愛媛	21	1.6%
新潟	24	1.8%		高知	12	0.9%
富山	17	1.3%		福岡	55	4.1%
石川	17	1.3%		佐賀	15	1.1%
福井	10	0.7%		長崎	24	1.8%
山梨	11	0.8%		熊本	26	1.9%
長野	26	1.9%		大分	20	1.5%
岐阜	15	1.1%		宮崎	14	1.0%
静岡	21	1.6%		鹿児島	22	1.6%
愛知	46	3.4%		沖縄	13	1.0%
三重	18	1.3%		無回答	12	0.9%

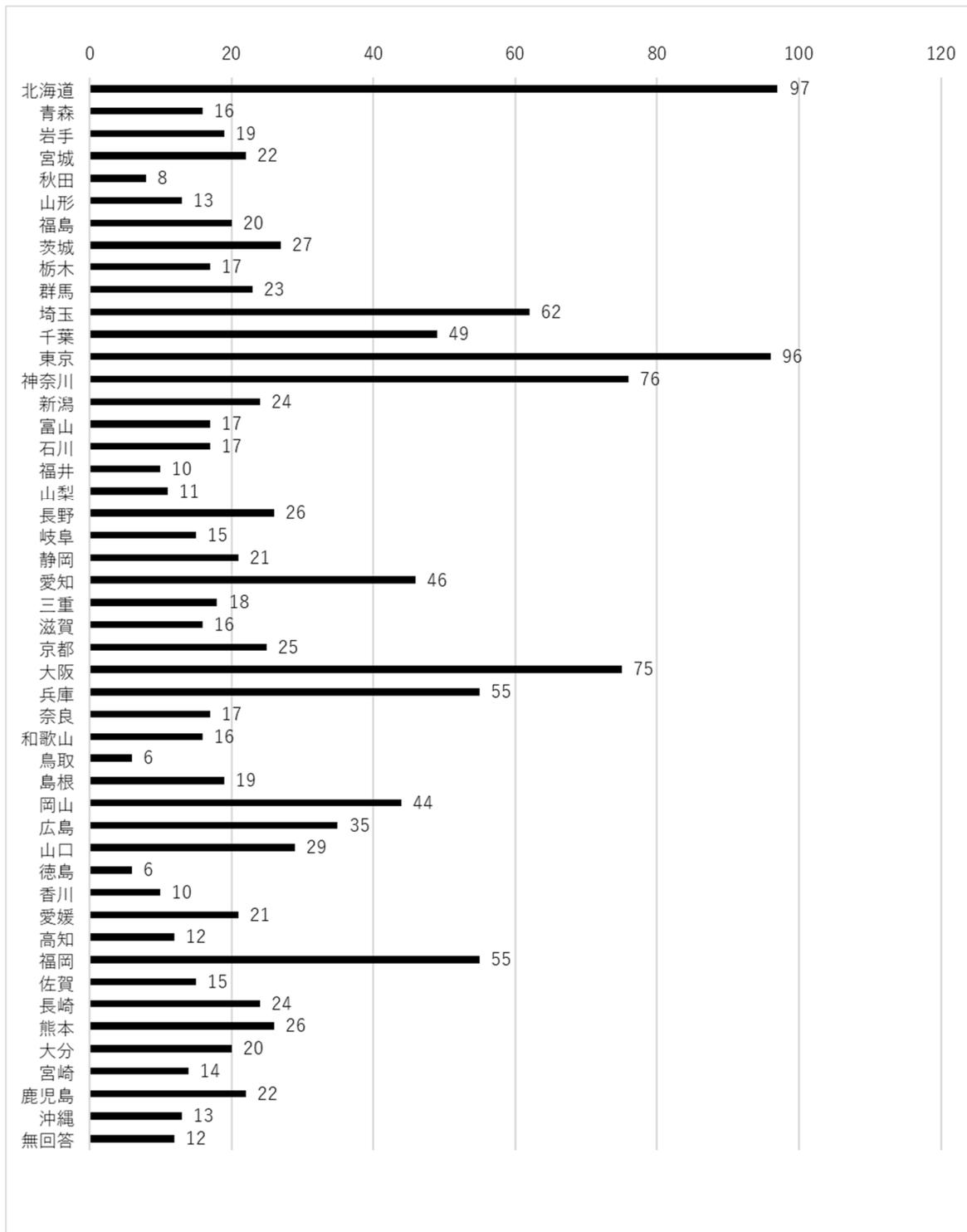


図 3 勤務病院の所在地 (n=1,337)

表 4 働いている病院の種類 (n=1,337)

	人数	割合
大学病院	46	3.4%
救急患者を多く受け入れている病院	370	27.7%
長期入院の高齢者が多い病院	363	27.2%
精神病院	93	7.0%
その他の一般病院	461	34.5%
無回答	4	0.3%

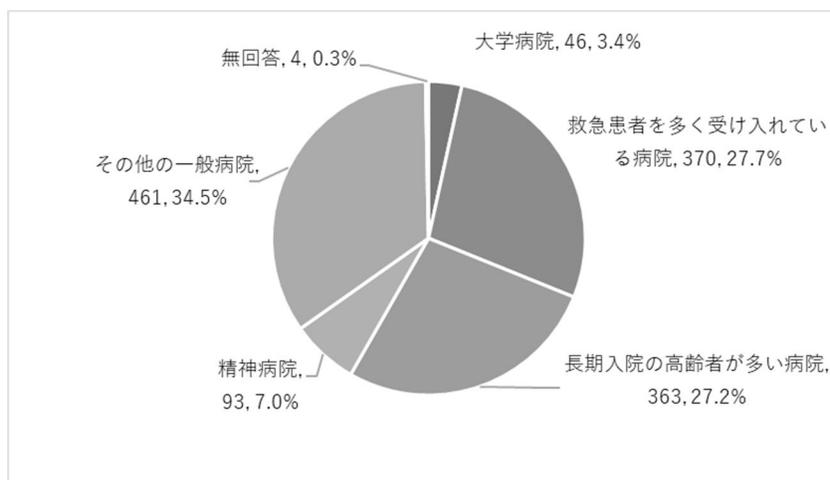


図 4 働いている病院の種類 (n=1,337)

表 5 働いている病院の病床数 (n=1,337)

	人数	割合
49床以下	106	7.9%
50～99床	291	21.8%
100～199床	409	30.6%
200～399床	338	25.3%
400床以上	192	14.4%
無回答	1	0.1%

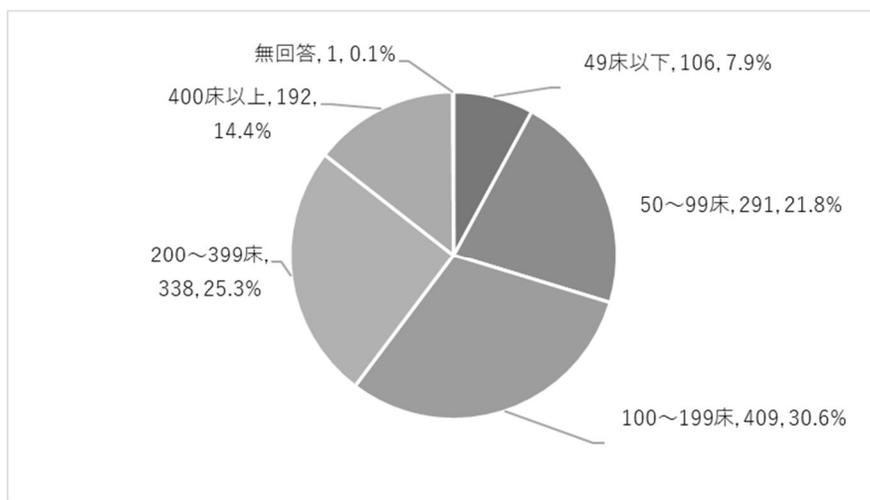


図 5 働いている病院の病床数 (n=1,337)

表 6 介護系の資格の有無（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
介護職員初任者研修修了（ヘルパー2級）	495	37.0%
介護職員実務者研修修了	115	8.6%
介護福祉士	603	45.1%
特にない	440	32.9%

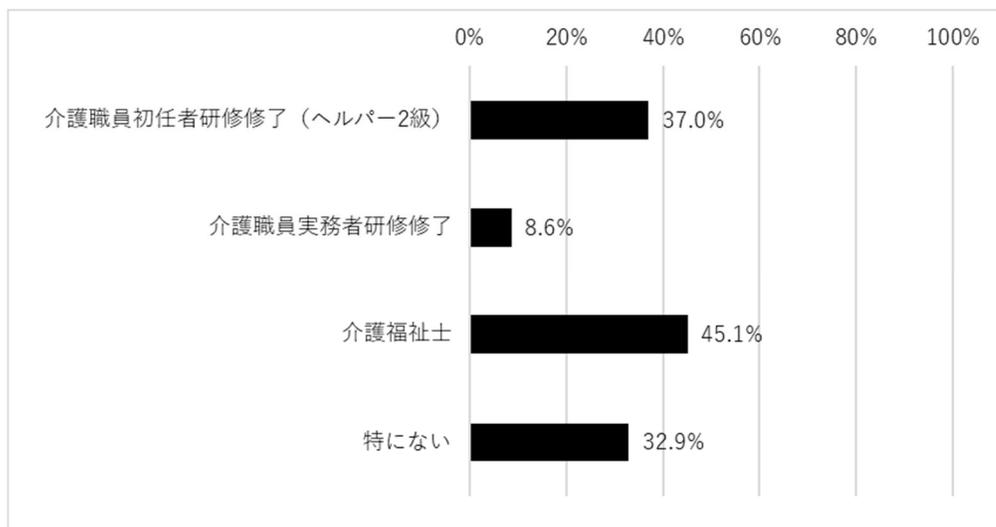


図 6 介護系の資格の有無（複数回答、n=1,337）

表 7 今後取得したい資格（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
介護職員初任者研修修了（ヘルパー2級）	109	8.2%
介護職員実務者研修修了	130	9.7%
介護福祉士	215	16.1%
准看護師	41	3.1%
看護師	98	7.3%
特にない	735	55.0%
その他	195	14.6%

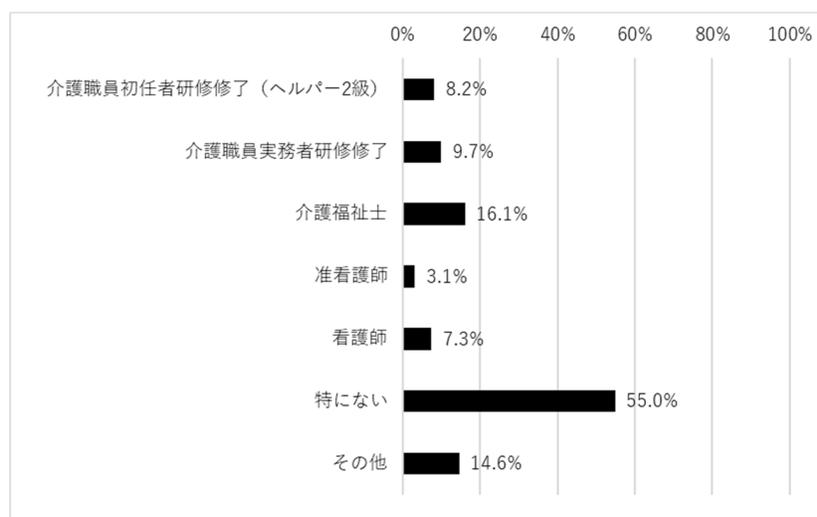


図 7 今後取得したい資格（複数回答、n=1,337）

表 8 現有資格の有無と介護福祉士資格取得希望 (n=734)

	総数	介護福祉士資格 取得希望あり	割合
介護福祉士資格なし 他の資格あり	294	119	40.5%
いずれの資格もなし	440	96	21.8%
合計	734	215	29.3%

介護福祉士資格を有するもの 603 名を除く、734 名で作成

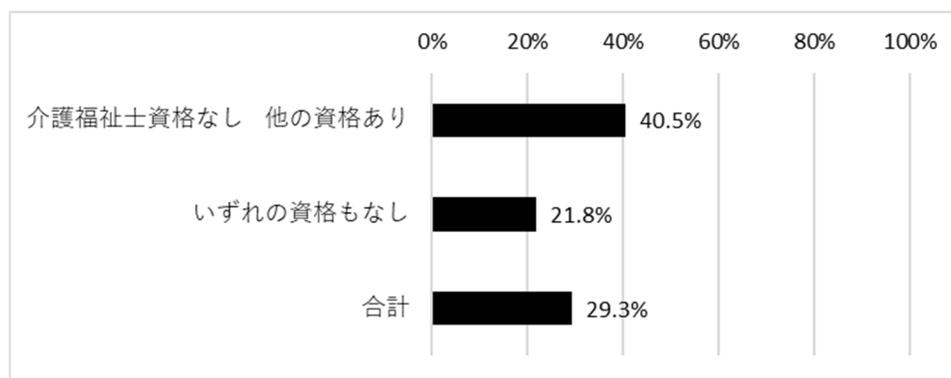


図 8 現有資格の有無と介護福祉士資格取得希望 (n=734)

介護福祉士資格を有するもの 603 名を除く、734 名で作成

表 9 雇用形態 (n=1,337)

	人数	割合
病院の正規職員	985	73.7%
病院の非正規職員 (パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員)	322	24.1%
病院以外の派遣会社・業務委託会社社員	16	1.2%
わからない	1	0.1%
その他	7	0.5%
無回答	6	0.4%

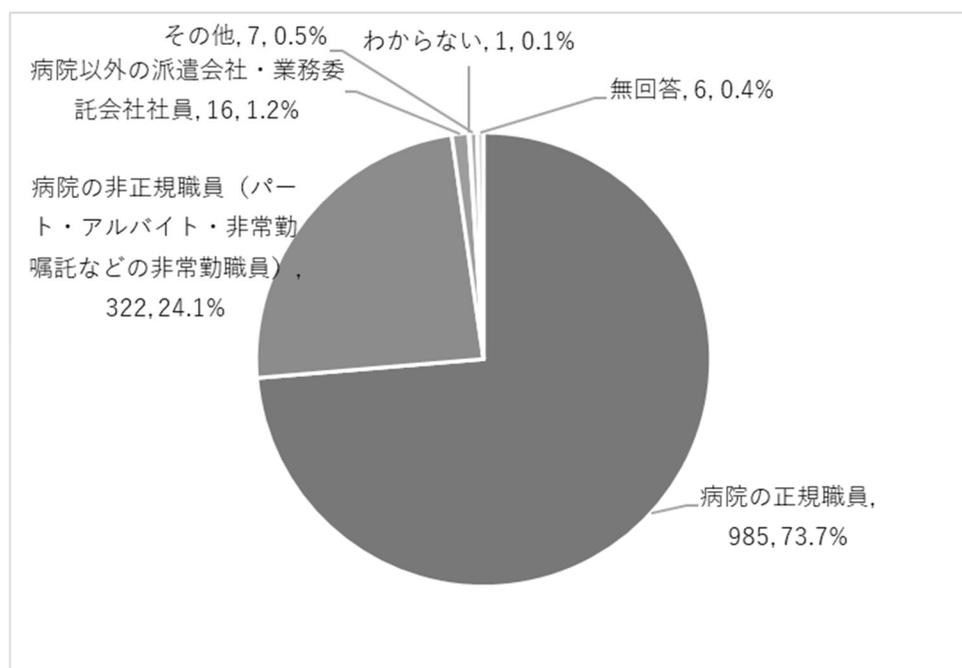


図 9 雇用形態 (n=1,337)

表 10 雇用形態・その他の自由記述

	人数
契約社員	2
臨時職員	2
常勤の嘱託職員	1
契約職員	1
グループ企業からの出向正社員	1

表 11 病院での職名 (n=1,337)

	人数	割合
看護補助者	453	33.9%
看護助手	440	32.9%
看護アシスタント	24	1.8%
ナースエイド	40	3.0%
ケアワーカー	87	6.5%
介護福祉士	213	15.9%
その他	74	5.5%
無回答	6	0.4%

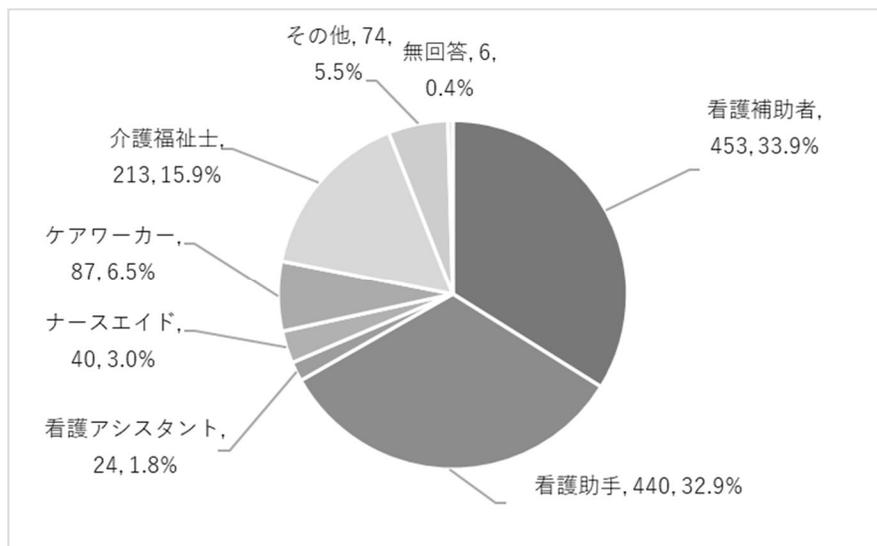


図 10 病院での職名 (n=1,337)

表 12 7 月中の週の勤務時間 (n=1,337)

	人数	割合
10 時間未満	14	1.0%
10 時間 ~ 20 時間未満	22	1.6%
20 時間 ~ 30 時間未満	81	6.1%
30 時間 ~ 40 時間未満	893	66.8%
40 時間以上	322	24.1%
無回答	3	0.2%

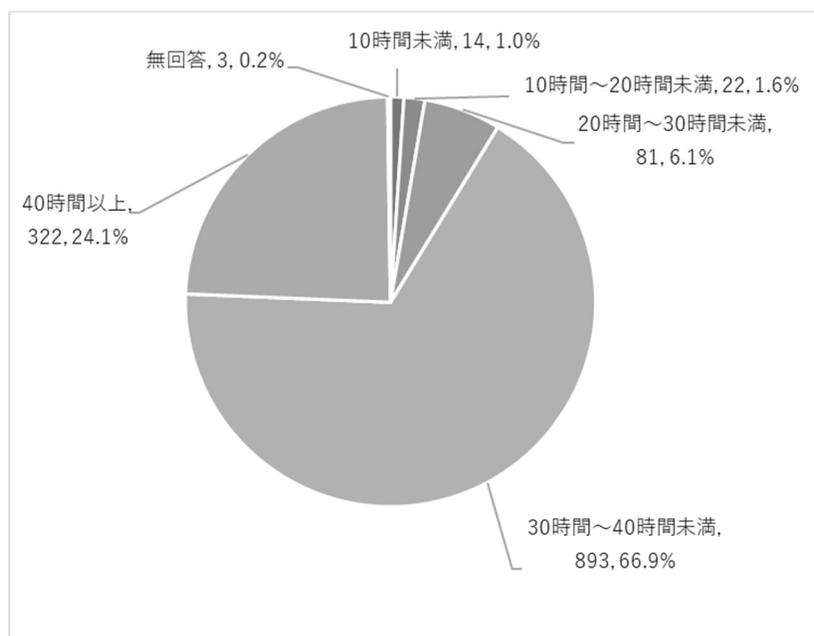


図 11 7 月中の週の勤務時間 (n=1,337)

表 13 希望の勤務時間 (n=1,337)

	人数	割合
10 時間未満	22	1.6%
10 時間 ~ 20 時間未満	31	2.3%
20 時間 ~ 30 時間未満	170	12.7%
30 時間 ~ 40 時間未満	917	68.6%
40 時間以上	181	13.5%
無回答	16	1.2%

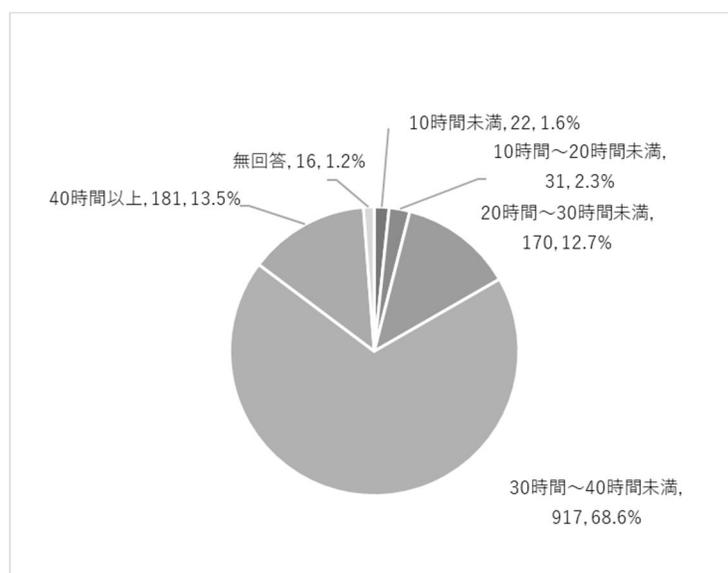


図 12 希望の勤務時間 (n=1,337)

表 14 週の勤務時間と希望の勤務時間（一週間あたり）のクロス表（n=1,317）

		希望の勤務時間（一週間あたり）									
		10 時間未満		10 時間～ 20 時間未満		20 時間～ 30 時間未満		30 時間～ 40 時間未満		40 時間以上	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
週 の 勤 務 時 間	10 時間未満	11	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.3%	0	0.0%
	10 時間～ 20 時間未満	2	9.1%	20	64.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	20 時間～ 30 時間未満	2	9.1%	4	12.9%	62	36.5%	11	1.2%	0	0.0%
	30 時間～ 40 時間未満	4	18.2%	5	16.1%	102	60.0%	748	81.9%	25	13.8%
	40 時間以上	3	13.6%	2	6.5%	6	3.5%	151	16.5%	156	86.2%

週の勤務時間は 7 月中の時間で回答を依頼。

表 15 希望の勤務時間と週の勤務時間の違い（n=1,317）

	人数	割合
同じ人	997	75.7%
希望より多く働いた人	281	21.3%
希望より少なく働いた人	39	3.0%

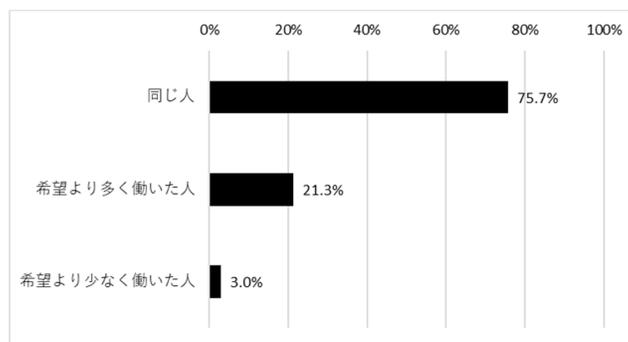


図 13 希望の勤務時間と週の勤務時間の違い（n=1,317）

表 16 勤務時間帯（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
昼間勤務	1,231	92.1%
夜間勤務	631	47.2%
休日勤務	815	61.0%
早朝勤務（早出）	809	60.5%
夕刻勤務（遅出）	744	55.6%

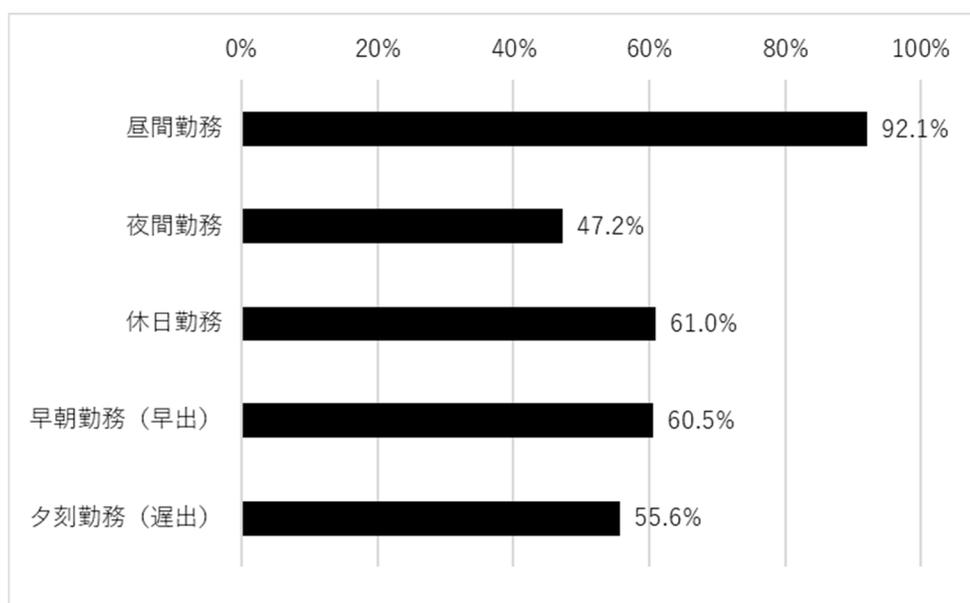


図 14 勤務時間帯（複数回答、n=1,337）

表 17 希望する勤務時間帯（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
昼間勤務	1,230	92.0%
夜間勤務	551	41.2%
休日勤務	493	36.9%
早朝勤務（早出）	567	42.4%
夕刻勤務（遅出）	458	34.3%

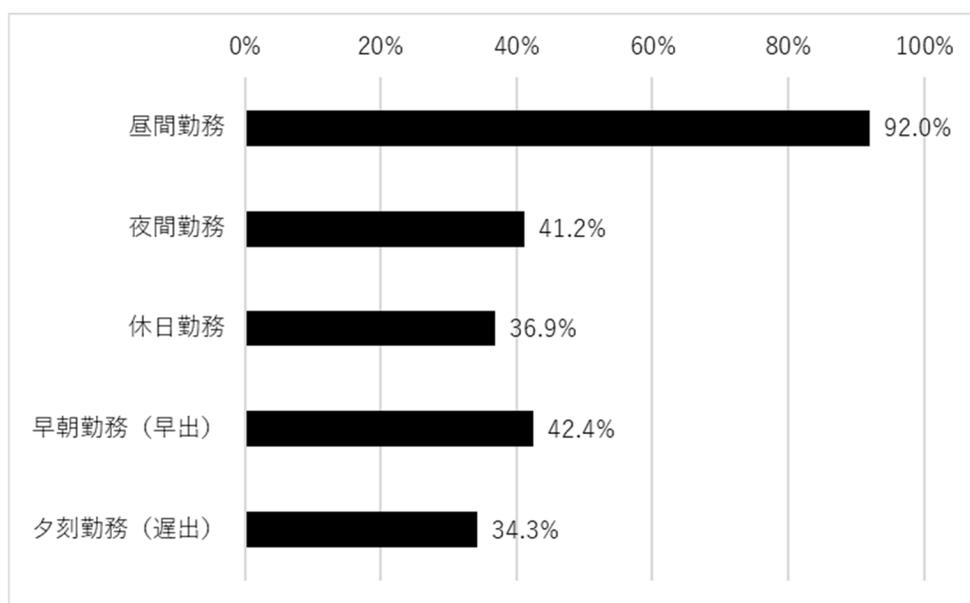


図 15 希望する勤務時間帯（複数回答、n=1,337）

表 18 現在の勤務時間帯・昼間勤務と希望の勤務時間帯・昼間勤務のクロス表

		希望の勤務時間帯・昼間勤務			
		あてはまらない		あてはまる	
		人数	割合	人数	割合
現在の勤務時間帯・ 昼間勤務	あてはまらない	44	41.1%	62	5.0%
	あてはまる	63	58.9%	1168	95.0%

表 19 現在の勤務時間帯・夜間勤務と希望の勤務時間帯・夜間勤務のクロス表

		希望の勤務時間帯・夜間勤務			
		あてはまらない		あてはまる	
		人数	割合	人数	割合
現在の勤務時間帯・ 夜間勤務	あてはまらない	652	83.0%	54	9.8%
	あてはまる	134	17.0%	497	90.2%

表 20 現在の勤務時間帯・休日勤務と希望の勤務時間帯・休日勤務のクロス表

		希望の勤務時間帯・休日勤務			
		あてはまらない		あてはまる	
		人数	割合	人数	割合
現在の勤務時間帯・ 休日勤務	あてはまらない	489	57.9%	33	6.7%
	あてはまる	355	42.1%	460	93.3%

表 21 現在の勤務時間帯・早朝勤務（早出）と希望の勤務時間帯・早朝勤務（早出）のクロス表

		希望の勤務時間帯・早朝勤務（早出）			
		あてはまらない		あてはまる	
		人数	割合	人数	割合
現在の勤務時間帯・ 早朝勤務（早出）	あてはまらない	496	64.4%	32	5.6%
	あてはまる	274	35.6%	535	94.4%

表 22 現在の勤務時間帯・夕刻勤務（遅出）と希望の勤務時間帯・夕刻勤務（遅出）のクロス表

		希望の勤務時間帯・夕刻勤務（遅出）			
		あてはまらない		あてはまる	
		人数	割合	人数	割合
現在の勤務時間帯・ 夕刻勤務（遅出）	あてはまらない	560	63.7%	33	7.2%
	あてはまる	319	36.3%	425	92.8%

表 23 希望していない時間帯で働いている人の数（n=1,337）

	人数	割合
昼間勤務	63	4.7%
夜間勤務	134	10.0%
休日勤務	355	26.6%
早朝勤務（早出）	274	20.5%
夕刻勤務（遅出）	319	23.9%

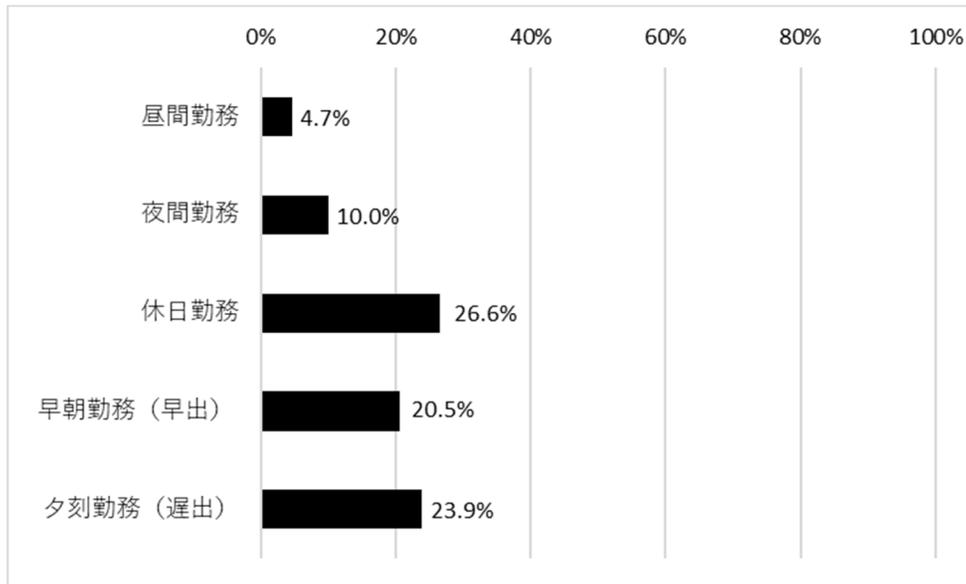


図 16 希望していない時間帯で働いている人の数（n=1,337）

表 24 月収（7月の税込み支給額・手当含む、n=1,337）

	人数	割合
10万円未満	35	2.6%
10万円～20万円未満	712	53.3%
20万円～30万円未満	504	37.7%
30万円～40万円未満	74	5.5%
40万円以上	9	0.7%
無回答	3	0.2%

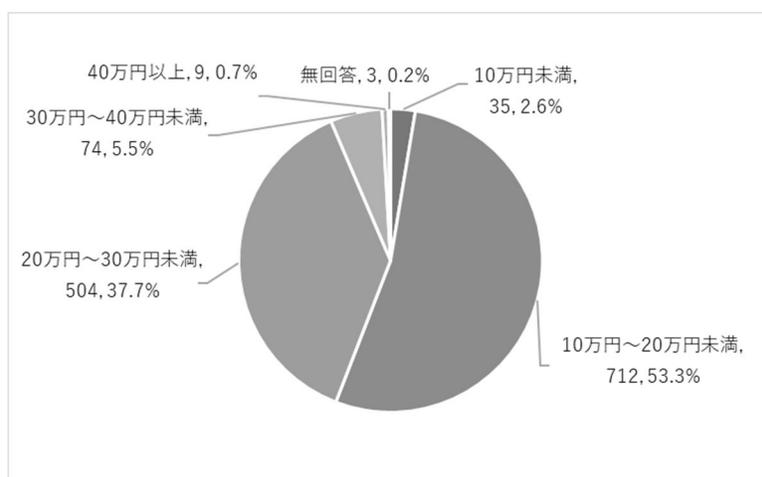


図 17 月収（7月の税込み支給額・手当含む、n=1,337）

表 25 時給 (n=1,337)

	人数	割合
1,000 円未満	369	27.6%
1,000 円 ~ 1,200 円未満	504	37.7%
1,200 円 ~ 1,400 円未満	218	16.3%
1,400 円 ~ 1,600 円未満	95	7.1%
1,600 円以上	74	5.5%
無回答	77	5.8%

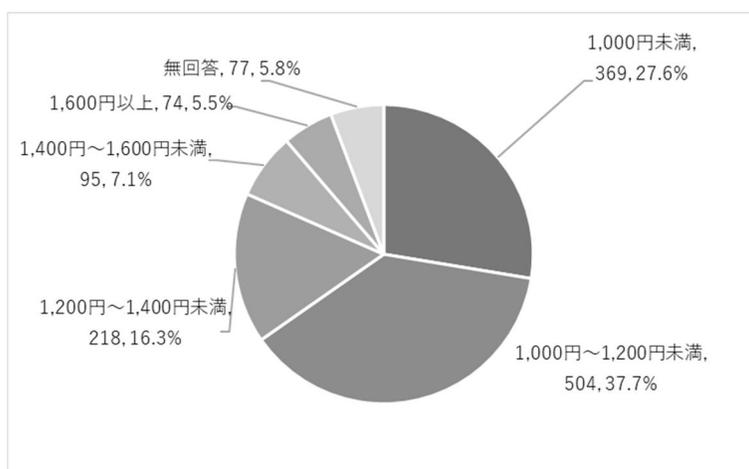


図 18 時給 (n=1,337)

表 26 月収（7月の税込み支給額・手当含む）と雇用形態のクロス表（n=1,320）

		病院の正規職員		病院の非正規職員 （パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員）		病院以外の派遣会社・業務委託会社社員	
		（n=983）		（n=321）		（n=16）	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
月収	10万円未満	1	0.1%	32	10.0%	2	12.5%
	10万円～20万円未満	432	43.9%	256	79.8%	12	75.0%
	20万円～30万円未満	468	47.6%	32	10.0%	2	12.5%
	30万円～40万円未満	73	7.4%	1	0.3%	0	0.0%
	40万円以上	9	0.9%	0	0.0%	0	0.0%

雇用形態「わからない」の1名は除外。

表 27 時給（7月の税込み支給額・手当含む）と雇用形態のクロス表（n=1,246）

		病院の正規職員		病院の非正規職員 （パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員）		病院以外の派遣会社・業務委託会社社員	
		（n=914）		（n=316）		（n=16）	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
時給	1,000円未満	239	26.1%	121	38.3%	2	12.5%
	1,000円～1,200円未満	352	38.5%	139	44.0%	8	50.0%
	1,200円～1,400円未満	164	17.9%	47	14.9%	6	37.5%
	1,400円～1,600円未満	87	9.5%	7	2.2%	0	0.0%
	1,600円以上	72	7.9%	2	0.6%	0	0.0%

雇用形態「わからない」の1名は除外。

表 28 配偶者・パートナーの有無 (n=1,337)

	人数	割合
あり	759	56.8%
なし	573	42.9%
無回答	5	0.4%

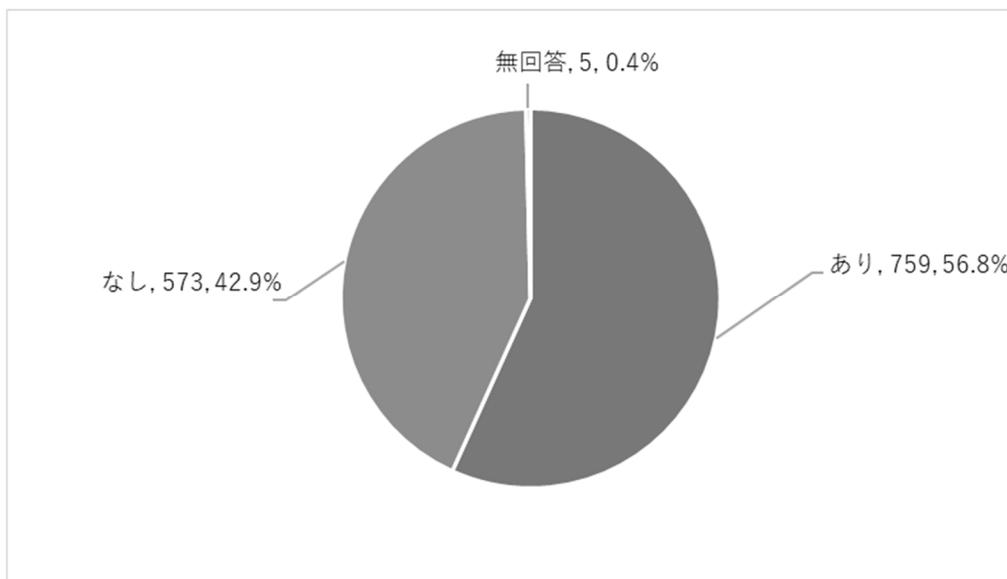


図 19 配偶者・パートナーの有無 (n=1,337)

表 29 同居している子どもの有無 (n=1,337)

	人数	割合
なし	615	46.0%
あり (未就学年齢)	143	10.7%
あり (小学生)	215	16.1%
あり (中学生)	154	11.5%
あり (中学校卒業以上)	433	32.4%

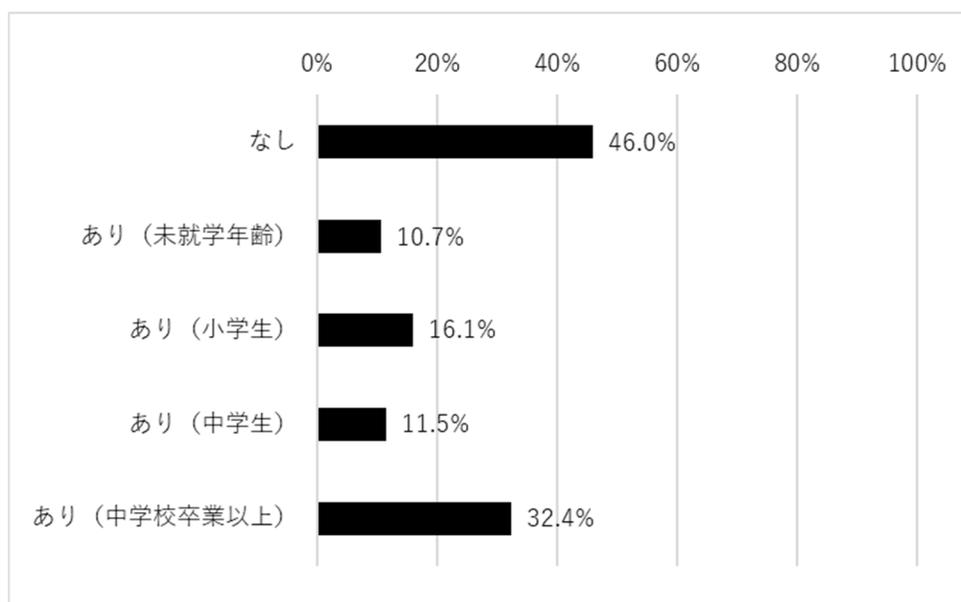


図 20 同居している子どもの有無 (複数回答、n=1,337)

表 30 性別による月収（7月の税込み支給額・手当含む）のクロス集計

		女性		男性	
		人数	割合	人数	割合
月 収	10万円未満	35	3.0%	0	0.0%
	10万円～20万円未満	659	57.3%	51	28.8%
	20万円～30万円未満	404	35.1%	96	54.2%
	30万円～40万円未満	51	4.4%	23	13.0%
	40万円以上	2	0.2%	7	4.0%

表 31 性別による8時給のクロス集計

		女性		男性	
		人数	割合	人数	割合
時 給	1,000円未満	345	31.8%	23	13.5%
	1,000円～1,200円未満	440	40.5%	62	36.5%
	1,200円～1,400円未満	179	16.5%	39	22.9%
	1,400円～1,600円未満	71	6.5%	24	14.1%
	1,600円以上	51	4.7%	22	12.9%

表 32 今の病院で働き始めた理由（複数回答、n=1,337）

	複数回答		最も強いもの	
	人数	割合	人数	割合
勤務地の都合が良い（自宅からのアクセスが良いなど）	908	67.9%	573	42.9%
給与が良い	177	13.2%	81	6.1%
勤務時間の都合がつけやすい	324	24.2%	111	8.3%
知人が働いていた	311	23.3%	161	12.0%
一緒に働く仲間の雰囲気が良い	167	12.5%	50	3.7%
病院の雰囲気が良い	170	12.7%	37	2.8%
研修が充実している	64	4.8%	6	0.4%
患者としてかかっていたことある・家族がかかっていた	138	10.3%	29	2.2%
その他	224	16.8%	133	9.9%

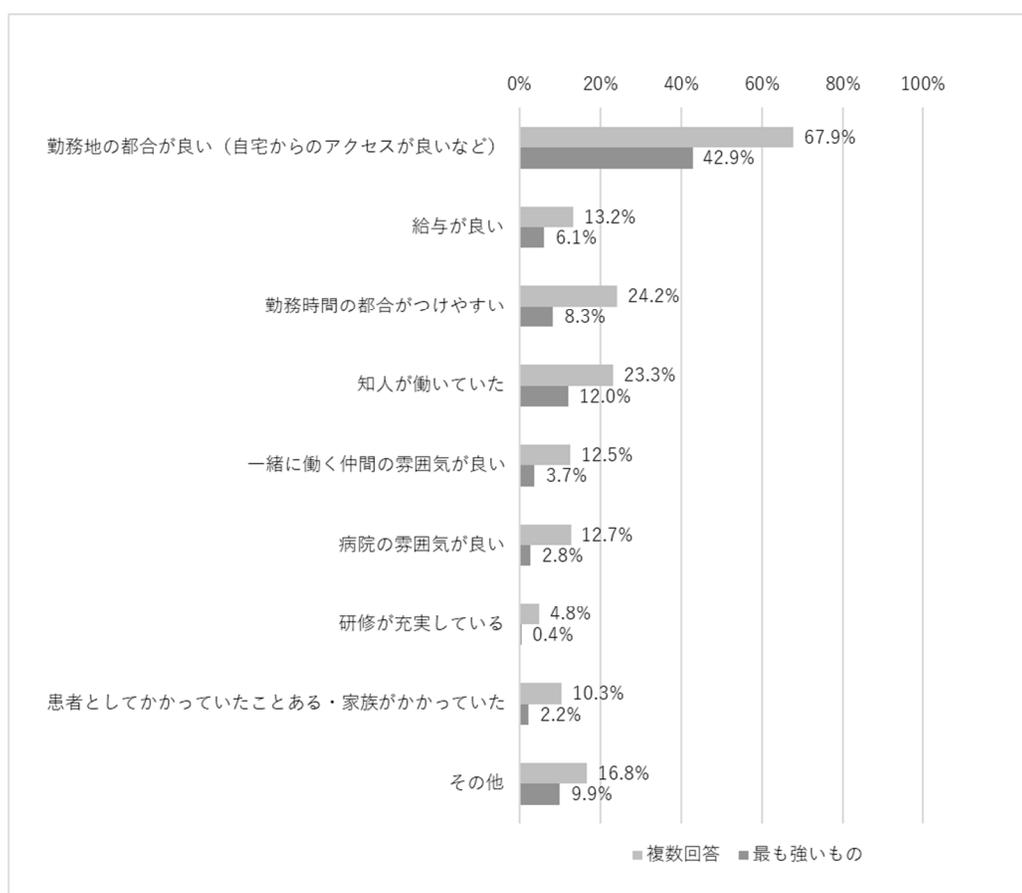


図 21 今の病院で働き始めた理由（複数回答、n=1,337）

表 33 今の病院で働き始めた理由・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
異動・配属先・派遣先だったため	18
正規職員としての勤務希望	17
医療関係、介護関係の職場への興味	15
家族や友人の紹介	14
学校からの紹介・斡旋	14
勤務時間・休日の利便性	13
院内保育の充実	11
家族・親戚が働いていた、働いている	8
福利厚生・賞与の充実	8
アルバイトなどで働いていたことがある	8
求人	7
特定の分野のケアができるから（看取り、急性期、精神科など）	7
生活費を稼ぐため	6
偶然・なんとなく	6
資格や経験が無くても働けるから	5

表 34 看護業務をサポートするスタッフという仕事を選んだ理由（複数回答、n=1,337）

	複数回答		最も強いもの	
	人数	割合	人数	割合
人に役立つ仕事をしたい	852	63.7%	500	37.4%
人の命にかかわる仕事をしたい	134	10.0%	29	2.2%
介護福祉士の能力を活かせる	226	16.9%	75	5.6%
介護職員初任者研修などの研修成果を活かせる	81	6.1%	15	1.1%
自分の今までの経験を活かせる	346	25.9%	121	9.1%
看護や介護の技術を身に付けたい	498	37.2%	185	13.8%
病院で働きたい	392	29.3%	129	9.6%
給与が良い	134	10.0%	43	3.2%
勤務時間が選べる	126	9.4%	41	3.1%
その他	131	9.8%	63	4.7%

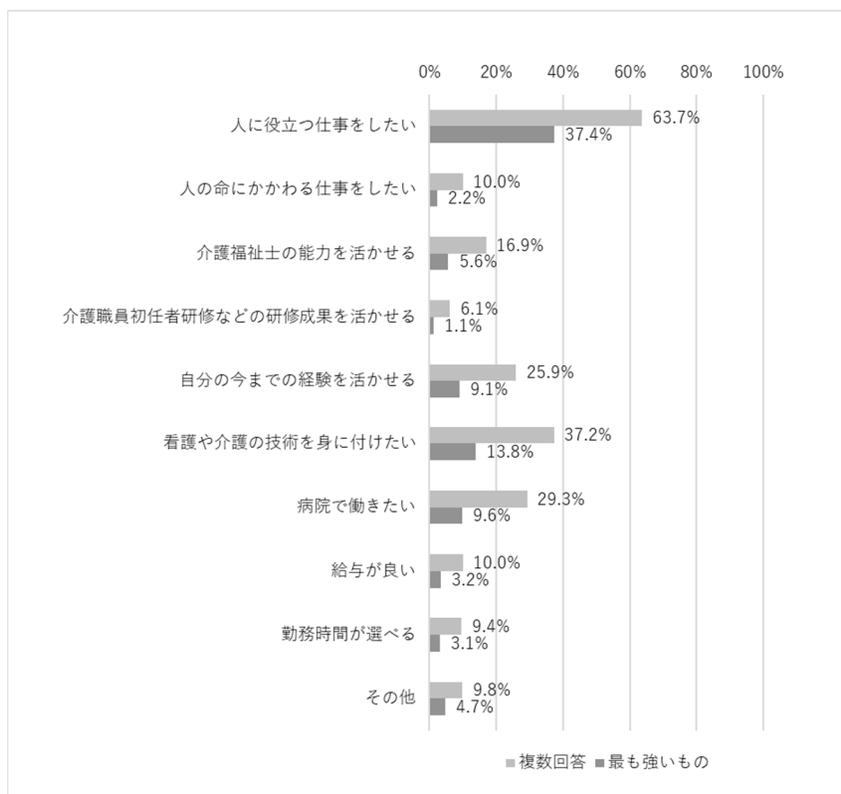


図 22 看護業務をサポートするスタッフという仕事を選んだ理由（複数回答、n=1,337）

表 35 看護業務サポートスタッフの仕事を選んだ理由・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
勧められた	12
組織内での配属または配属転換	11
たまたま	8
お金を稼ぐため	8
勤務地が適していた	7
正規職員での勤務希望	6
資格が無くても働ける	5
育児との両立（院内保育、休みを取りやすいなど）	5
休暇の充実（取りやすい、日数）	5

表 36 募集を知った経緯（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
ハローワーク	487	36.4%
有料職業紹介所	8	0.6%
派遣会社	39	2.9%
求人広告（民間求人サイト・SNS）	43	3.2%
求人広告（フリーペーパー・タウンペーパー）	62	4.6%
求人広告（折込チラシ）	90	6.7%
求人広告（新聞）	33	2.5%
病院のホームページ	121	9.1%
知人の紹介	505	37.8%
その他	130	9.7%

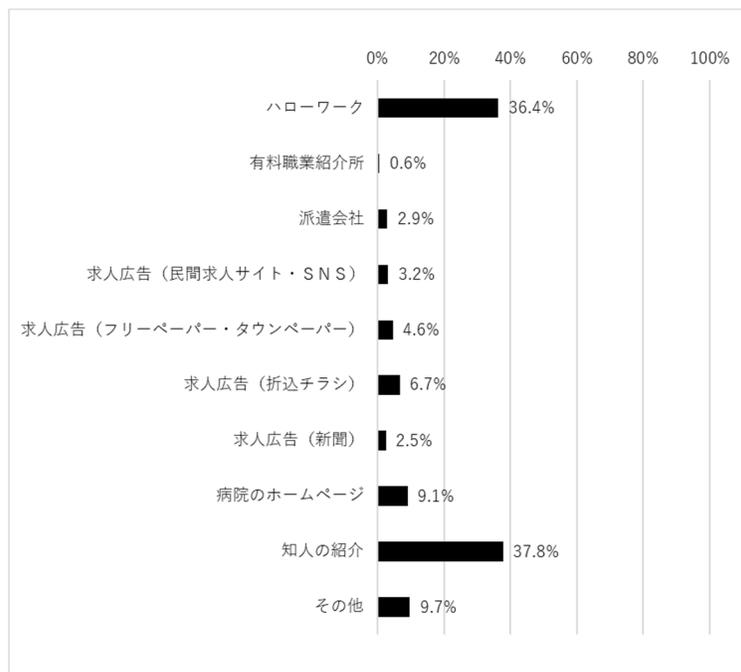


図 23 募集を知った経緯（複数回答、n=1,337）

表 37 募集を知った経緯・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
学校・教育機関からの紹介、学校にきていた求人広告	68
家族・知人が働いていた、教えられた	11
医療機関や自治体の広報、募集	11
組織内での配置、配属転換	10

表 38 今の病院に勤める前の仕事 (n=1,337)

	人数	割合
専業主婦・家事手伝い	113	8.5%
学生	162	12.1%
定年退職後でフリー	0	0.0%
勤め人(パート、アルバイト、非常勤、嘱託など非正規の職員)	526	39.3%
勤め人(正規職員)	460	34.4%
自営業(家族として手伝っている場合も含む)	21	1.6%
農業・漁業・林業(家族として手伝っている場合も含む)	9	0.7%
その他	37	2.8%
無回答	9	0.7%

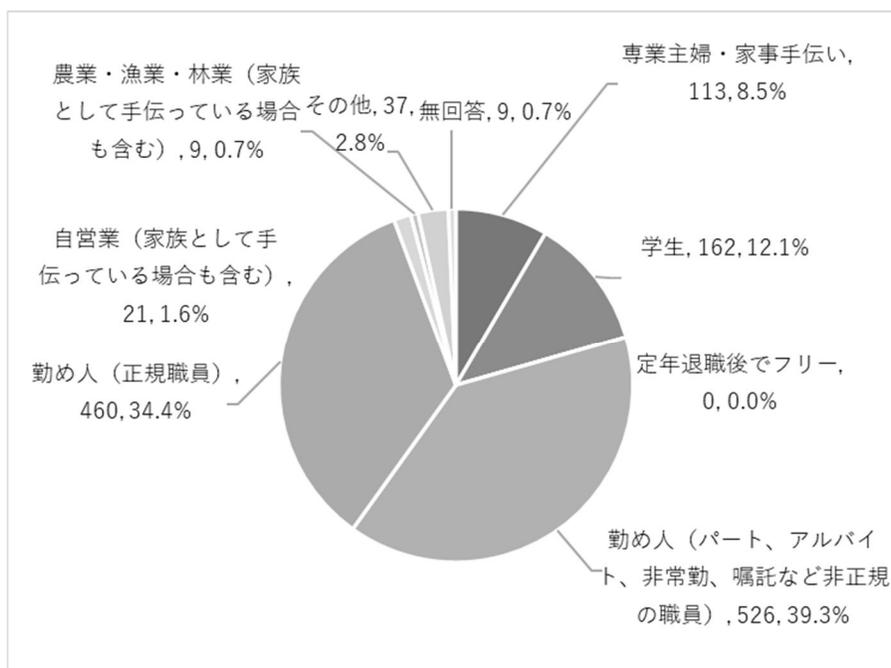


図 24 今の病院に勤める前の仕事 (n=1,337)

表 39 今の病院に勤める直前のお仕事・その他の自由記述 (5名以上記載)

	人数
医療・介護職	19

表 40 今までに経験したことのある職種（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
管理的職業：会社・団体等の役員や管理職員など	36	2.7%
専門的・技術的職業：栄養士・保育士・看護師・教員・司書・美術家・音楽家など	142	10.6%
事務的職業：事務員・経理事務員・集金人・調査員・パソコン操作員など	467	34.9%
販売の職業：商品販売店員・営業職など	444	33.2%
サービスの職業：介護職員・看護助手・家政婦・美容師・調理人・ビル管理人など	708	53.0%
保安の職業：自衛官・警察官・消防員・警備員など	18	1.3%
農林漁業の職業	26	1.9%
生産工程の職業：製造・加工・機械組立・自動車整備・検査など	193	14.4%
輸送・機械運転の職業：タクシー運転手・バス運転手・車掌・ボイラー等運転など	14	1.0%
建設・採掘の職業：大工・左官・とび職・電気工事・土木作業・石切出しなど	28	2.1%
運搬・清掃・包装等の職業：配達員・倉庫作業・清掃・包装など	166	12.4%

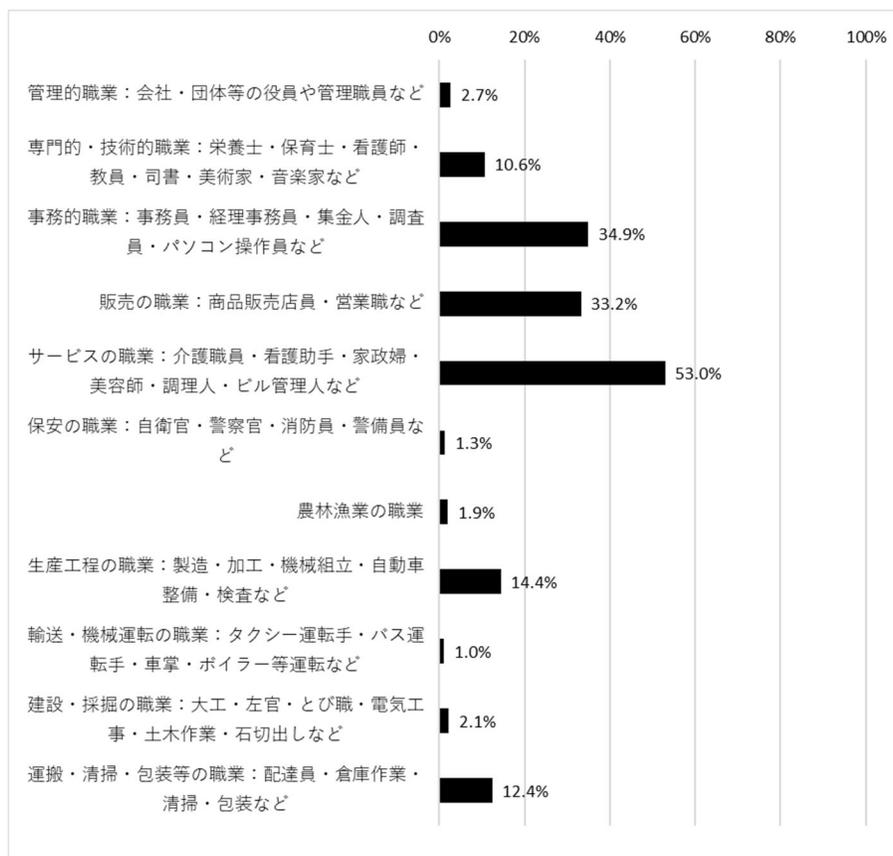


図 25 今までに経験したことのある職種（複数回答、n=1,337）

表 41 介護施設での勤務経験 (n=1,337)

	人数	割合
ある	441	33.0%
ない	892	66.7%
無回答	4	0.3%

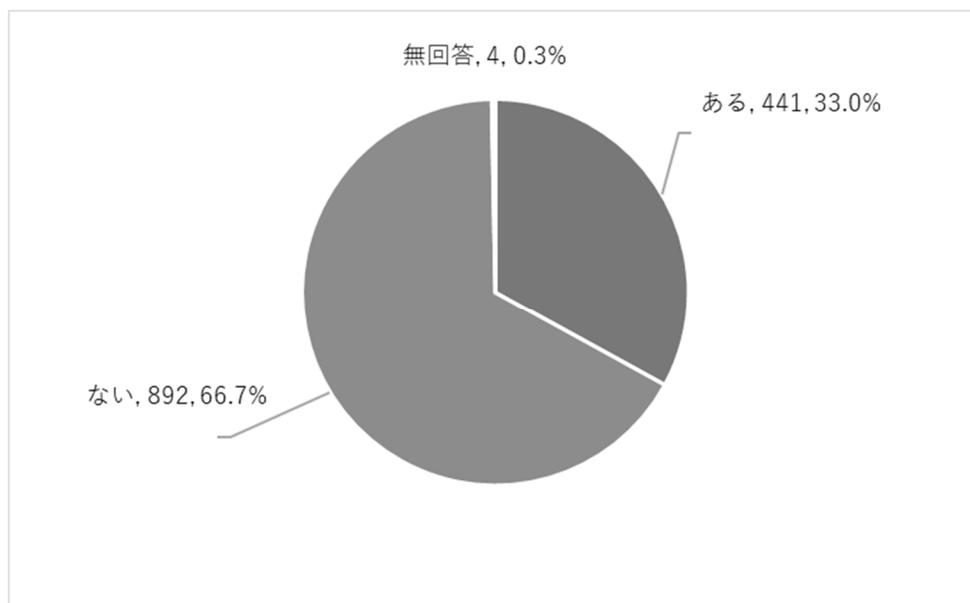


図 26 介護施設での勤務経験 (n=1,337)

表 42 病院でサポートスタッフとして働いた経験 (n=1,337)

	人数	割合
今の病院が初めて	1,050	78.5%
他の病院で働いたことがある	276	20.6%
無回答	11	0.8%

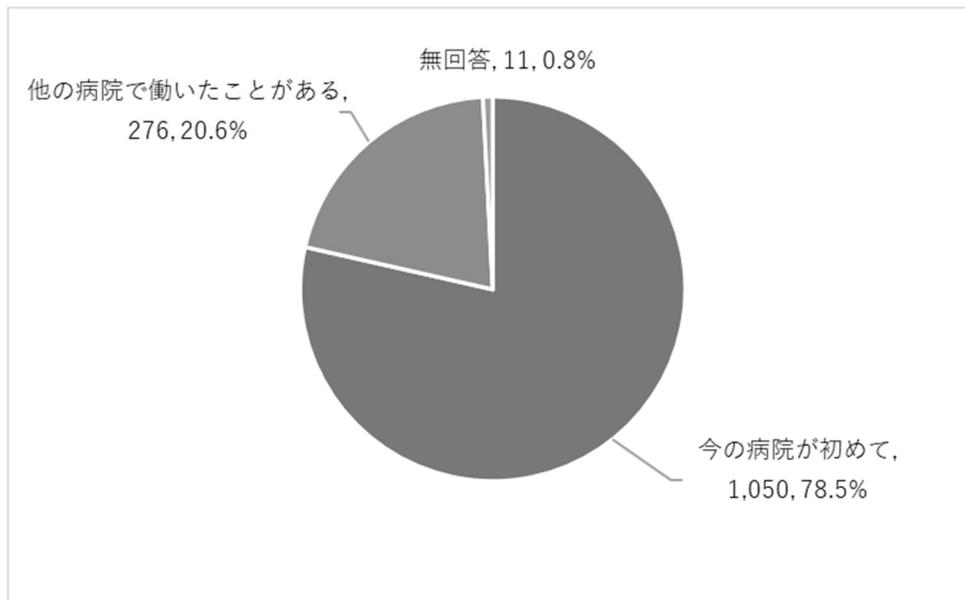


図 27 病院でサポートスタッフとして働いた経験 (n=1,337)

表 43 サポートスタッフとしての経験年数

人数	平均値	標準偏差	最小値	第一四分位	中央値	第三四分位	最大値
1,312	11.3	7.3	0.0	6.0	10.0	16.0	40.0

表 44 サポートスタッフとしての経験年数の分布 (n=1,337)

	人数	割合
3年未満	113	8.5%
3年以上5年未満	130	9.7%
5年以上10年未満	382	28.6%
10年以上15年未満	269	20.1%
15年以上	418	31.3%
無回答	25	1.9%

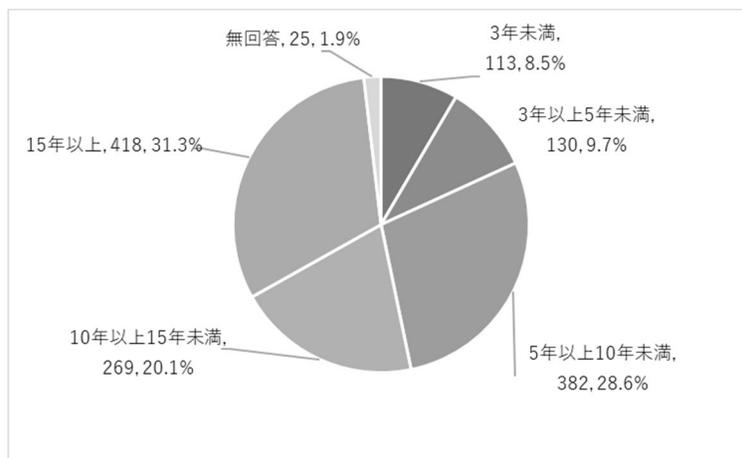


図 28 サポートスタッフとしての経験年数

表 45 これまでに受けた研修と役立った研修、受けた研修（いずれも複数回答、n=1,337）

	受けた研修		役立った研修		受けた研修	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
医療制度の概要および病院の機能と組織について	972	72.7%	471	48.5%	325	24.3%
医療チームおよび看護チームの一員としての看護補助業務について	1,011	75.6%	636	62.9%	506	37.8%
看護補助を行うための基礎的な知識	1,062	79.4%	809	76.2%	494	36.9%
患者さんのトイレ介助など日常生活の支援の方法	969	72.5%	740	76.4%	472	35.3%
守秘義務、個人情報の保護	1,122	83.9%	663	59.1%	261	19.5%
医療安全と感染防止	1,256	93.9%	1,097	87.3%	637	47.6%
その他	99	7.4%	60	60.6%	112	8.4%

役立った研修は、受けた研修についてのみ尋ねた。割合は受けた研修の人数に対するもの。

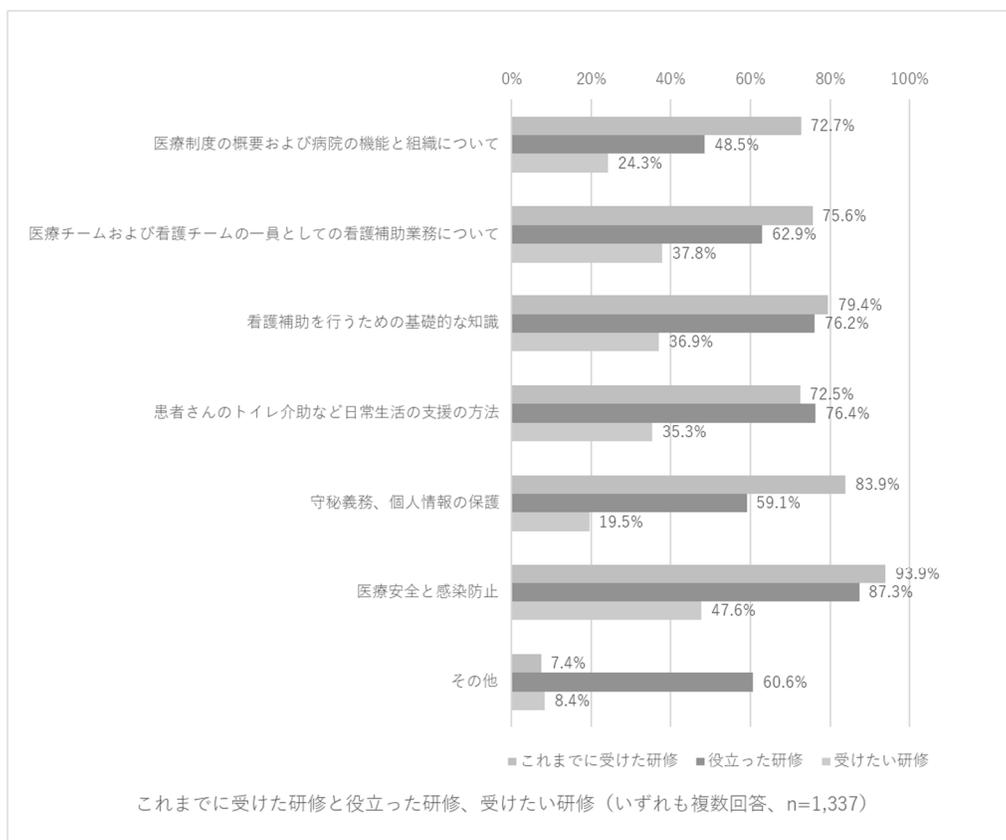


図 29 これまでに受けた研修と役立った研修、受けた研修（いずれも複数回答、n=1,337）

表 46 看護業務サポートスタッフとして受けた研修・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
接遇、マナー、コミュニケーション、クレーム対応	40
認知症関連	20
AED、BLS、急変時対応など	12
倫理、人権、コンプライアンス関係	12
リーダー、コーチング、マネージメント	7
介護、ケア	5

表 47 看護業務サポートスタッフとして受けた研修のうち、役立った研修・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
接遇、マナー、コミュニケーション、クレーム対応	24
倫理、人権、コンプライアンス関係	7

表 48 看護業務サポートスタッフとして受けた研修のうち、受けた研修・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
認知症関連	23
接遇、マナー、コミュニケーション、クレーム対応	11
病気、障害、薬剤など医学的知識	7
介護、ケア技術	6
経管栄養、喀痰吸引	5
移送・移乗・体位変換	5
AED、BLS、急変時対応など	5
リーダー、コーチング、マネージメント	5

表 49 勤務している部署（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
病棟	1,297	97.0%
外来	51	3.8%
検査部門	11	0.8%
中材部門	28	2.1%
その他	27	2.0%

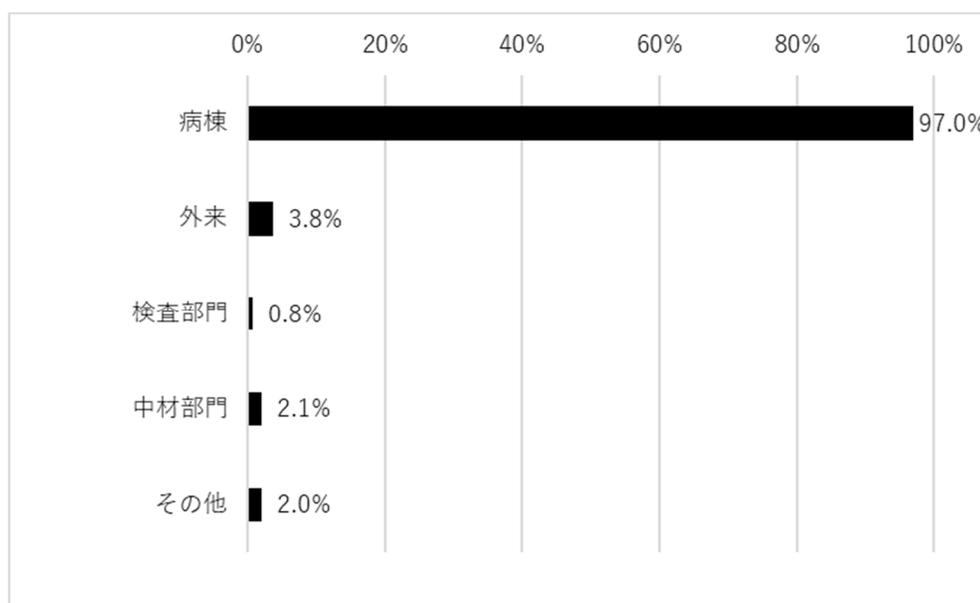


図 30 勤務している部署（複数回答、n=1,337）

表 50 看護業務サポートの仕事をしている部署・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
手術室	5
院内デイサービス	5

表 51 直属の上司 (n=1,337)

	人数	割合
看護部門の長 (看護部長等)	122	9.1%
病棟 (部署) の看護師長	1,167	87.3%
看護部門とは異なる看護業務サポート部門の長	19	1.4%
看護部門とは異なる看護業務サポート部門の病棟 (部署) 責任者	11	0.8%
その他	13	1.0%
無回答	5	0.4%

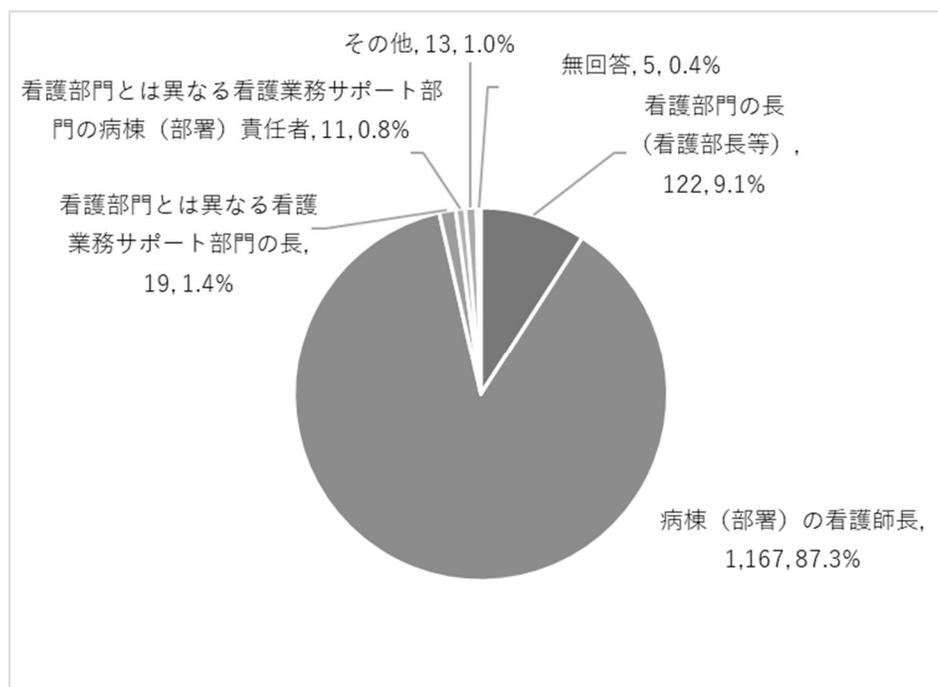


図 31 直属の上司 (n=1,337)

表 52 業務を規定する文書の有無 (n=1,337)

	人数	割合
ある	1067	79.8%
あるらしいが目にしたことはない	173	12.9%
ない	91	6.8%
無回答	6	0.4%

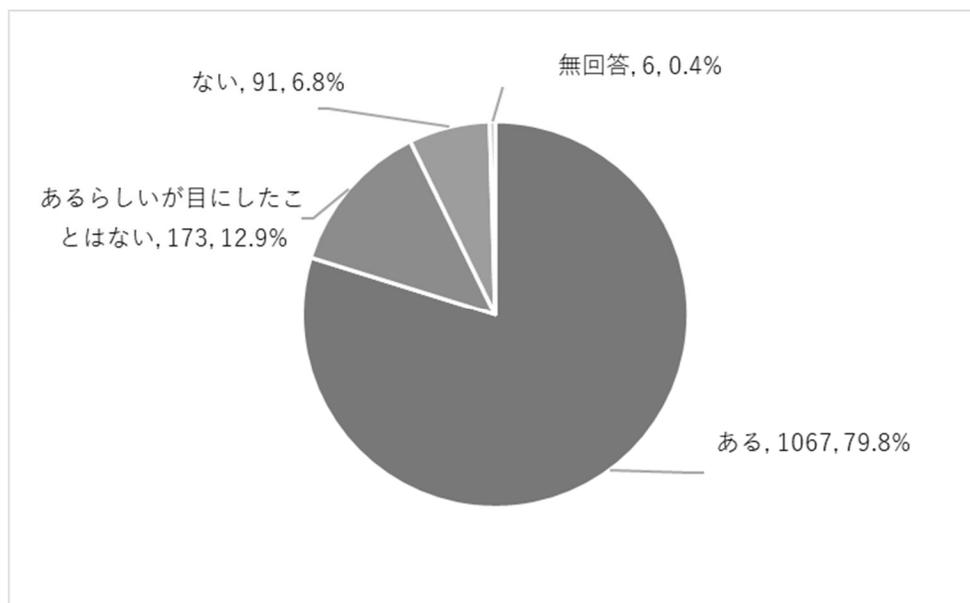


図 32 業務を規定する文書の有無 (n=1,337)

表 53 業務内容や看護職からの指示の明確さ (n=1,337)

	人数	割合
とても明確である	316	23.6%
まあ明確である	755	56.5%
曖昧で困ることがある	237	17.7%
曖昧でとても困っている	20	1.5%
無回答	9	0.7%

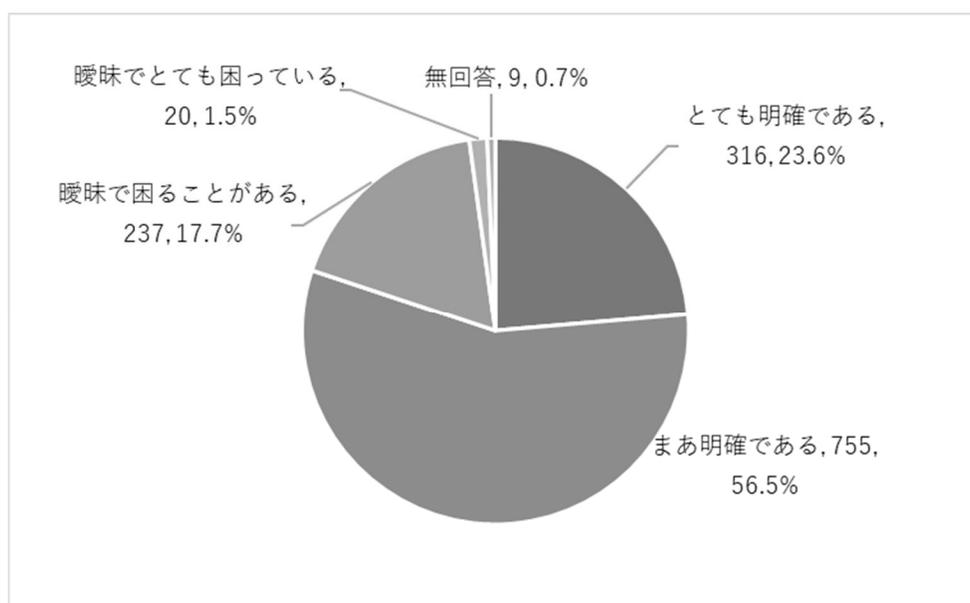


図 33 業務内容や看護職からの指示の明確さ (n=1,337)

表 54 チームの一員として期待されているという実感の有無 (n=1,337)

	人数	割合
とてもある	232	17.4%
まあある	820	61.3%
あまりない	230	17.2%
全くない	45	3.4%
無回答	10	0.7%

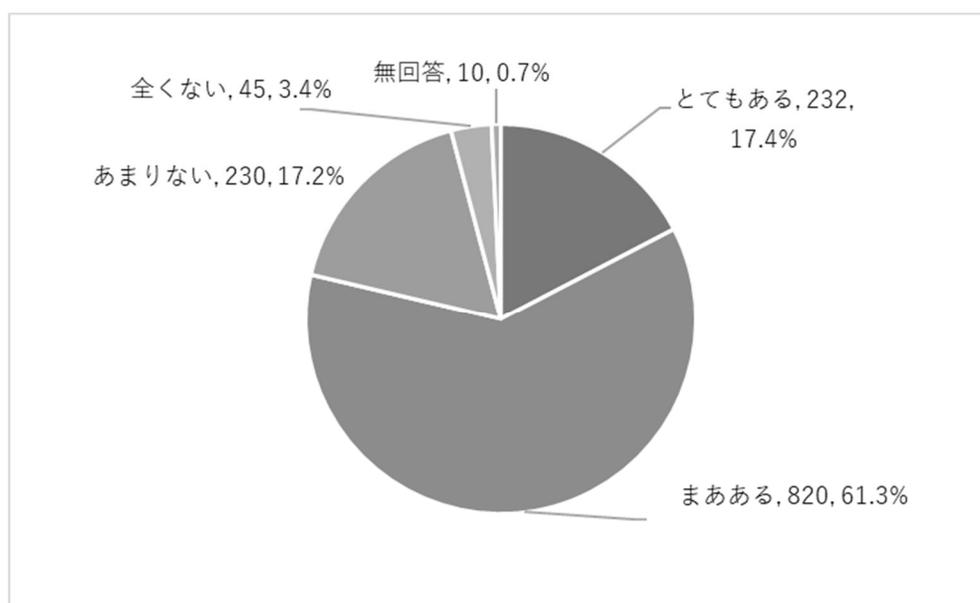


図 34 チームの一員として期待されているという実感の有無 (n=1,337)

表 55 業務内容と困難を感じる業務（複数回答、n=1,337）

	行っている業務		困難を感じる業務	
	人数	割合	人数	割合
生活環境に関わる業務				
病床及び病床周辺の清掃・整頓	1,268	94.8%	265	20.9%
病室環境の調整（温度、湿度、採光、換気など）	1,058	79.1%	261	24.7%
シーツ交換やベッドメイキング	1,299	97.2%	131	10.1%
リネン類の管理	1,123	84.0%	115	10.2%
診療の周辺業務				
処置・検査等の伝票類の準備・整備	292	21.8%	46	15.8%
診療に必要な書類の整備・補充	269	20.1%	36	13.4%
入退院・転出入に関する業務（書類や請求書等の配布、回収、作成など）	283	21.2%	79	27.9%
薬剤の搬送（運搬）	612	45.8%	26	4.2%
検体・レントゲンフィルムの搬送	709	53.0%	34	4.8%
診察に必要な機械・器具等の準備、片付け	661	49.4%	133	20.1%
診療材料の補充・整理	769	57.5%	115	15.0%
日常生活に関わる業務				
食事介助	1,136	85.0%	468	41.2%
配膳・下膳	1,253	93.7%	52	4.2%
口腔ケア	998	74.6%	313	31.4%
身体の清潔に関する業務	1,159	86.7%	257	22.2%
寝衣交換	1,137	85.0%	141	12.4%
おむつ交換	1,140	85.3%	222	19.5%
トイレ介助	1,147	85.8%	176	15.3%
膀胱内留置カテーテルのバッグに溜まった尿を捨てる	600	44.9%	23	3.8%
体の向きを変える	1,110	83.0%	164	14.8%
患者の移動・移送	1,261	94.3%	233	18.5%
見守り	1,222	91.4%	135	11.0%

困難を感じる割合の分母は、その業務を現在行っている人数

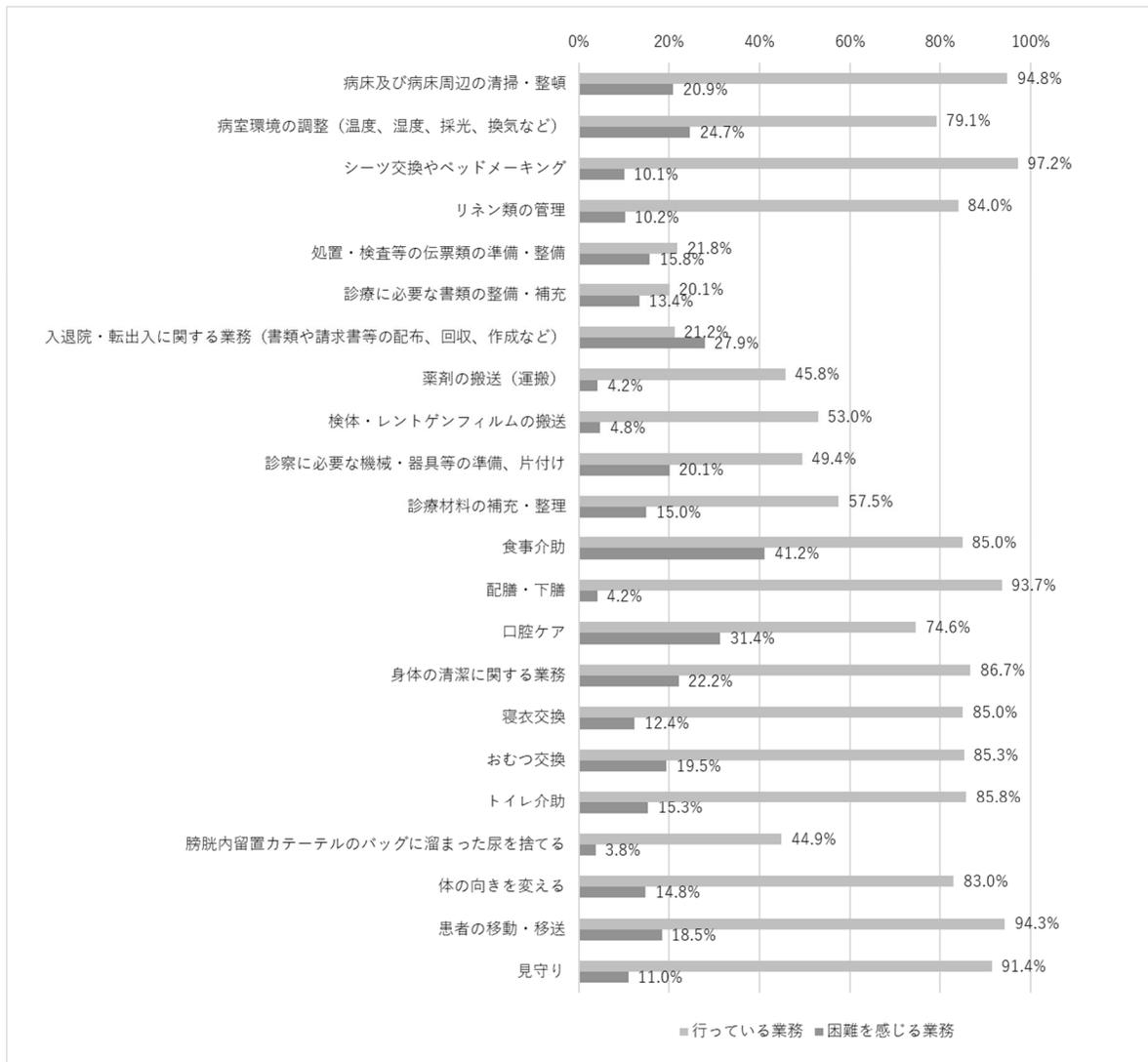


図 35 業務内容と困難を感じる業務 (複数回答、n=1,337)

困難を感じている人の割合の分母は、それぞれの業務を「行っている」と回答した人

表 56 行っている業務・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
入浴のスケジュール管理・介助	126
日用品やおむつの補充、薬品・リース物品・酸素ボンベ・看護用具などの管理	94
物品（吸引瓶、コップ、義歯など）、歩行器具、保育器、スコープの洗浄	39
病室、ナースステーション等の清掃・滅菌・洗濯	37
医療機器の滅菌・消毒	32
配茶・配膳など	31
レクリエーションやサロン活動の企画・運営・参加	26
死後の処置	24
カンファレンスや委員会への参加や準備	23
手術の介助・手術室のセッティング・物品の準備	22
ゴミ出し（可燃物、感染性廃棄物など）	22
部屋移動・ベッド移動・利用状況管理、入退院の準備片付け	21
シフト・勤務表調整・作成、業務チェック表の作成・管理	20
研修への参加・実施	16
清拭・洗面・髭剃り・おむつ交換・陰部洗浄の実施や補助	16
各種入力記録業務（食事オーダー、検査オーダー、看護に関するデータ）	16
他科受診、検査、透析の付き添い、送迎	15
経管栄養の準備・介助	15
ナースコールへの対応	14
車椅子、ベッド、ストレッチャーなどの機器点検	14
院内の案内	12
集団リハビリテーションやデイケア、デイサービスプログラムの運営・サポート	12
マニュアルの作成、見直し	11
クリーニング衣服の管理	10
患者さんに対する説明や案内、オリエンテーション、荷物点検	10
一般的な事務作業（コピー、シュレッダーなど）	9
外来診察補助	9
身長・体重測定	9
メッセージ業務・伝票処理	9

次ページへ続く

前ページからの続き

	人数
新人研修、教育	8
手術後のベッド作成	8
服薬介助（点眼介助などを含む）	8
買い物の代行、付添	8
家族への連絡、指導	7
中材業務の応援	6
病棟内リハビリの介助・見守り	6
退院支援	5
褥瘡処置、介助	5
植木の水やり等、アメニティ充実のための業務	5

表 57 行っている業務で困難な業務・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
認知症や高次脳機能障害、せん妄、失語症のある患者との関わり・対応	26
入浴介助	21
患者・家族との関わり	19
看護師との関わり・業務区分	14
業務多忙時の対応、人員不足による多忙	12
患者の状態による対応の違いの理解	11
同僚との関わり	10
感染の恐れのある業務	8
洗髪、つめきりなど、創部の洗浄	6
ケアプラン	6
死後の処置	6

表 58 病院で働くことの難しさ（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
腰痛など、体に痛みがある	840	62.8%
身体がきつい	644	48.2%
患者さんの命にかかわることがあると怖いと思う	739	55.3%
責任が重すぎる	198	14.8%
病気に感染することが怖いと思う	509	38.1%
患者さんからきついこと、理不尽なことを言われる	422	31.6%
看護職からきついこと、理不尽なことを言われる	387	28.9%
他の職種（看護職以外）からきついこと、理不尽なことを言われる	118	8.8%
同僚との人間関係（看護業務サポートスタッフ同士）	477	35.7%
その他	101	7.6%

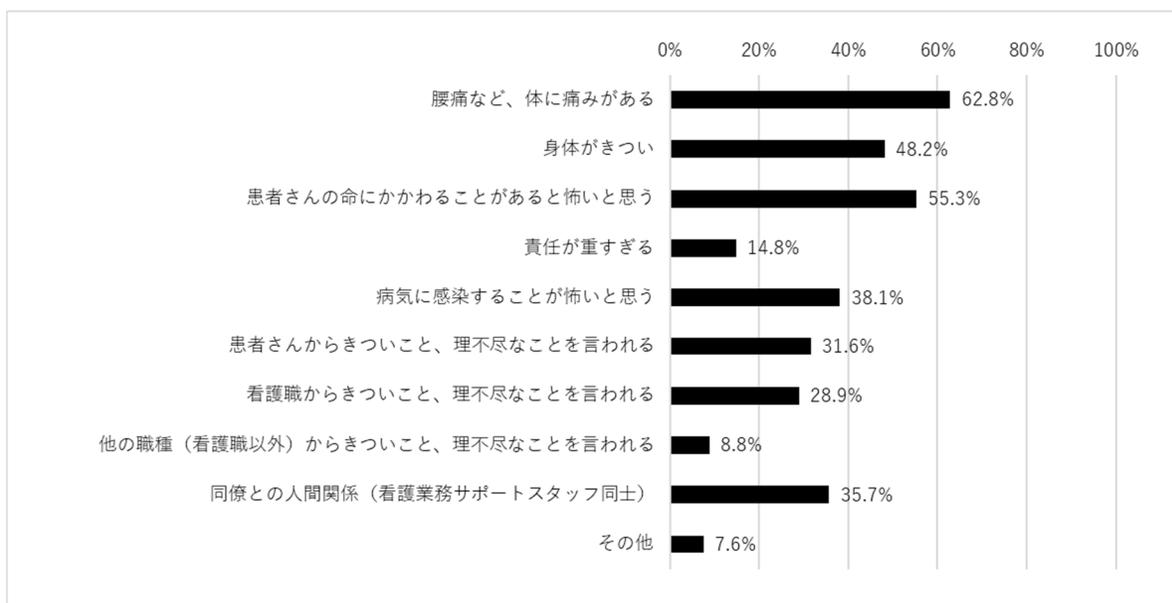


図 36 病院で働くことの難しさ（複数回答、n=1,337）

表 59 病院で働くことの難しさ・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
業務量の多さ、業務区分の不明確さ	22
患者との関わり方（セクシャル・ハラスメントや暴力行為を含む）	9
患者に関する情報連携	6
給与が低い	6
院内の連携	5
職場内での人間関係	5

表 60 病院で働くやりがい（複数回答、n=1,337）

	人数	割合
患者さんの命を支えていると思う	457	34.2%
患者さん・家族から感謝される	985	73.7%
看護師・他職種から感謝される	580	43.4%
人をケアすることで自分が成長できる	810	60.6%
仲間と協力し合って仕事をしている	896	67.0%
その他	56	4.2%

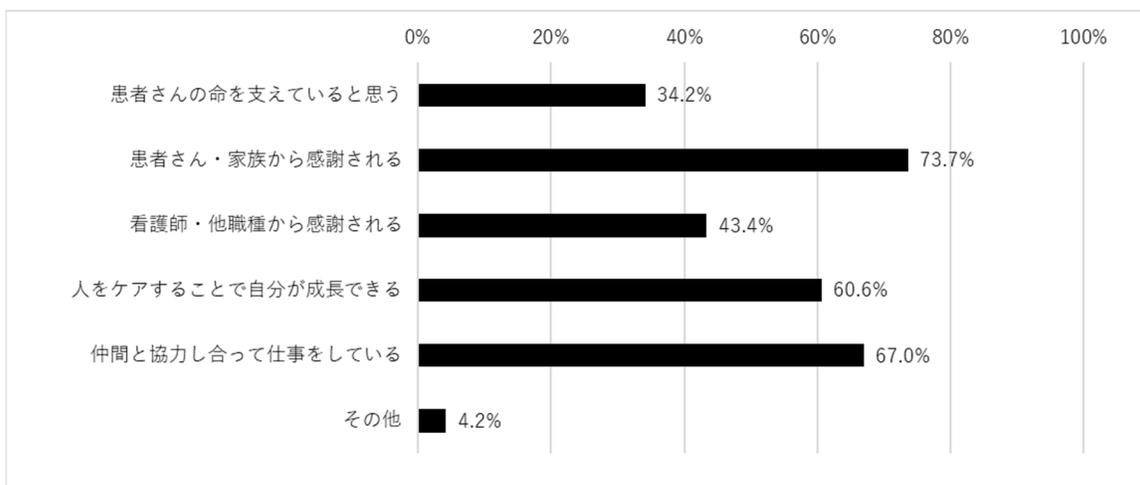


図 37 病院で働くやりがい（複数回答、n=1,337）

表 61 病院で働くことのやりがい・その他の自由記述（5名以上記載）

	人数
医学・看護・介護の知識を学べる、身につけられる	10

表 62 働き続けるために病院に期待すること（n=1,337）

	複数回答		最も大切なこと	
	人数	割合	人数	割合
給与の充実	1,205	90.1%	792	59.2%
福利厚生充実	799	59.8%	51	3.8%
勤務日数を選べるようにする	252	18.8%	10	0.7%
勤務時間帯を選べるようにする	298	22.3%	17	1.3%
希望に沿った部署に配置する	328	24.5%	20	1.5%
職場のハラスメント対策	255	19.1%	25	1.9%
正規職員として雇用する	360	26.9%	91	6.8%
業務内容を文書で明示する	167	12.5%	6	0.4%
上司との面談の機会を設ける	225	16.8%	2	0.1%
人事考課で能力を評価する	358	26.8%	45	3.4%
教育・研修の充実	366	27.4%	30	2.2%
資格を取れるように支援する	422	31.6%	36	2.7%
看護職と看護業務サポートスタッフとのチームワークのあり方を明確に示す	420	31.4%	59	4.4%
看護職を対象としたチームワークに関する教育・研修	239	17.9%	14	1.0%
呼び名を工夫する	60	4.5%	4	0.3%
ユニフォームを選べるようにする	272	20.3%	6	0.4%
その他	64	4.8%	13	1.0%

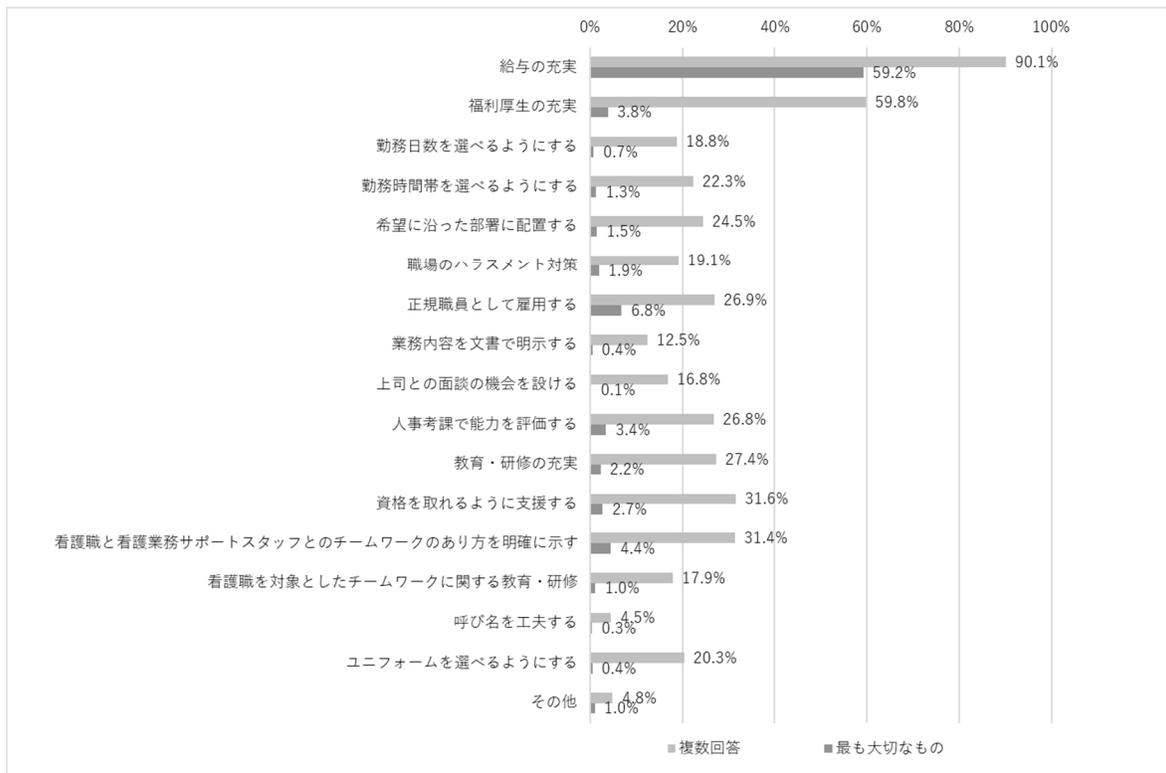


図 38 働き続けるために病院に期待すること (n=1,337)

表 63 働き続けるために病院に期待すること・その他の自由記述 (5名以上記載)

	人数
業務量の適正化・人手不足の解消	16
休暇の取得、ワークライフバランスの充実	15
チームワークの改善	5

表 64 働き続けるために病院に期待すること・呼び名の工夫の具体的内容 (5名以上記載)

	人数
ケアワーカー	7
資格の名称を活かす	6
介護士・介護職など	5
氏名で呼ぶ	5

表 65 働き続けるために病院に期待することと雇用形態のクロス表

		病院の正規職員		病院の非正規職員 (パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員)		病院以外の派遣会社・業務委託会社社員	
		(n=985)		(n=322)		(n=16)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
給与の充実	いいえ	92	9.3%	37	11.5%	3	18.8%
	はい	893	90.7%	285	88.5%	13	81.3%
福利厚生の充実	いいえ	383	38.9%	141	43.8%	10	62.5%
	はい	602	61.1%	181	56.2%	6	37.5%
勤務日数を選べるようにする	いいえ	796	80.8%	264	82.0%	15	93.8%
	はい	189	19.2%	58	18.0%	1	6.3%
勤務時間帯を選べるようにする	いいえ	764	77.6%	255	79.2%	9	56.3%
	はい	221	22.4%	67	20.8%	7	43.8%
希望に沿った部署に配置する	いいえ	724	73.5%	261	81.1%	14	87.5%
	はい	261	26.5%	61	18.9%	2	12.5%
職場のハラスメント対策	いいえ	773	78.5%	284	88.2%	13	81.3%
	はい	212	21.5%	38	11.8%	3	18.8%
正規職員として雇用する	いいえ	839	85.2%	123	38.2%	10	62.5%
	はい	146	14.8%	199	61.8%	6	37.5%
業務内容を文書で明示する	いいえ	857	87.0%	287	89.1%	14	87.5%
	はい	128	13.0%	35	10.9%	2	12.5%
上司との面談の機会を設ける	いいえ	815	82.7%	274	85.1%	11	68.8%
	はい	170	17.3%	48	14.9%	5	31.3%
人事考課で能力を評価する	いいえ	717	72.8%	241	74.8%	12	75.0%
	はい	268	27.2%	81	25.2%	4	25.0%

次ページへ続く

前ページからの続き

		病院の正規職員		病院の非正規職員 (パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員)		病院以外の派遣会社・業務委託会社社員	
		(n=985)		(n=322)		(n=16)	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合
教育・研修の充実	いいえ	701	71.2%	246	76.4%	13	81.3%
	はい	284	28.8%	76	23.6%	3	18.8%
資格を取れるように支援する	いいえ	689	69.9%	207	64.3%	11	68.8%
	はい	296	30.1%	115	35.7%	5	31.3%
看護職と看護業務サポートスタッフとのチームワークのあり方を明確に示す	いいえ	636	64.6%	255	79.2%	13	81.3%
	はい	349	35.4%	67	20.8%	3	18.8%
看護職を対象としたチームワークに関する教育・研修	いいえ	785	79.7%	288	89.4%	13	81.3%
	はい	200	20.3%	34	10.6%	3	18.8%
呼び名を工夫する	いいえ	929	94.3%	319	99.1%	15	93.8%
	はい	56	5.7%	3	0.9%	1	6.3%
ユニフォームを選べるようにする	いいえ	780	79.2%	264	82.0%	12	75.0%
	はい	205	20.8%	58	18.0%	4	25.0%

わからないと回答した1名は除外。

表 66 働き続けるために病院に期待することで最も大切なことと雇用形態のクロス表

	病院の正規職員		病院の非正規職員 (パート・アルバイト・非常勤嘱託などの非常勤職員)		病院以外の派遣会社・業務委託会社社員	
	(n=985)		(n=322)		(n=16)	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
給与の充実	625	63.5%	149	46.3%	9	56.3%
福利厚生 of 充実	35	3.6%	14	4.3%	0	0.0%
勤務日数を選べるようにする	5	0.5%	5	1.6%	0	0.0%
勤務時間帯を選べるようにする	12	1.2%	4	1.2%	1	6.3%
希望に沿った部署に配置する	18	1.8%	1	0.3%	1	6.3%
職場のハラスメント対策	24	2.4%	1	0.3%	0	0.0%
正規職員として雇用する	17	1.7%	70	21.7%	2	12.5%
業務内容を文書で明示する	3	0.3%	3	0.9%	0	0.0%
上司との面談の機会を設ける	2	0.2%	0	0.0%	0	0.0%
人事考課で能力を評価する	35	3.6%	10	3.1%	0	0.0%
教育・研修の充実	25	2.5%	5	1.6%	0	0.0%
資格を取れるように支援する	21	2.1%	14	4.3%	1	6.3%
看護職と看護業務サポートスタッフとのチームワークのあり方を明確に示す	50	5.1%	9	2.8%	0	0.0%
看護職を対象としたチームワークに関する教育・研修	11	1.1%	3	0.9%	0	0.0%
呼び名を工夫する	4	0.4%	0	0.0%	0	0.0%
ユニフォームを選べるようにする	5	0.5%	1	0.3%	0	0.0%

わからないと回答した1名は除外。

表 67 看護業務サポートスタッフの仕事を続ける意向の有無 (n=1,337)

	人数	割合
続けたい	1,086	81.2%
違う仕事に転職したい	193	14.4%
仕事すること自体をやめたい	46	3.4%
無回答	12	0.9%

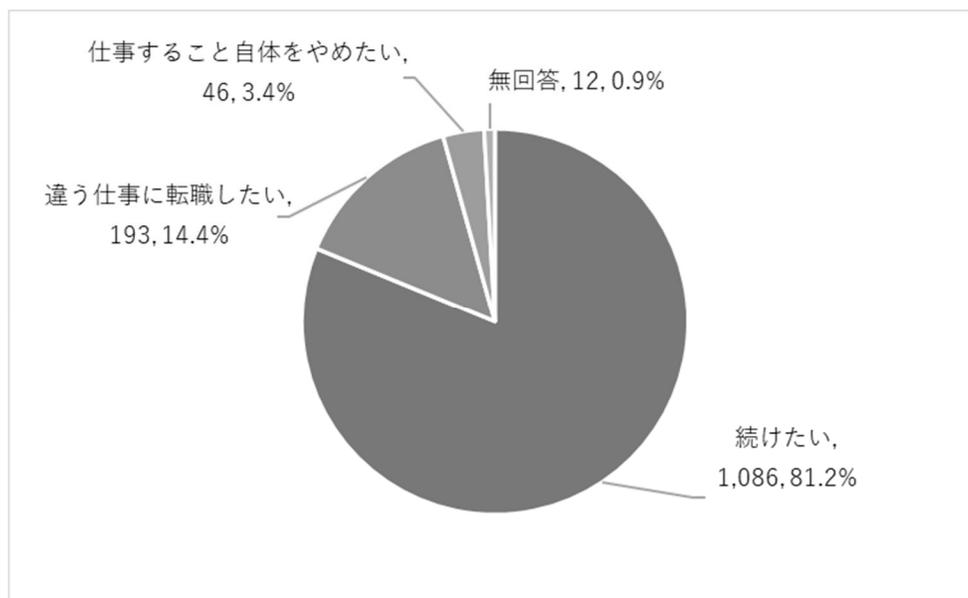


図 39 看護業務サポートスタッフの仕事を続ける意向の有無 (n=1,337)

表 68 病院での勤務継続意向 (n=1,337)

	人数	割合
この病院で働き続けたい	739	55.3%
もっと良い条件の病院があれば転職したい	382	28.6%
病院以外に転職したい	115	8.6%
仕事すること自体をやめたい	35	2.6%
無回答	15	1.1%

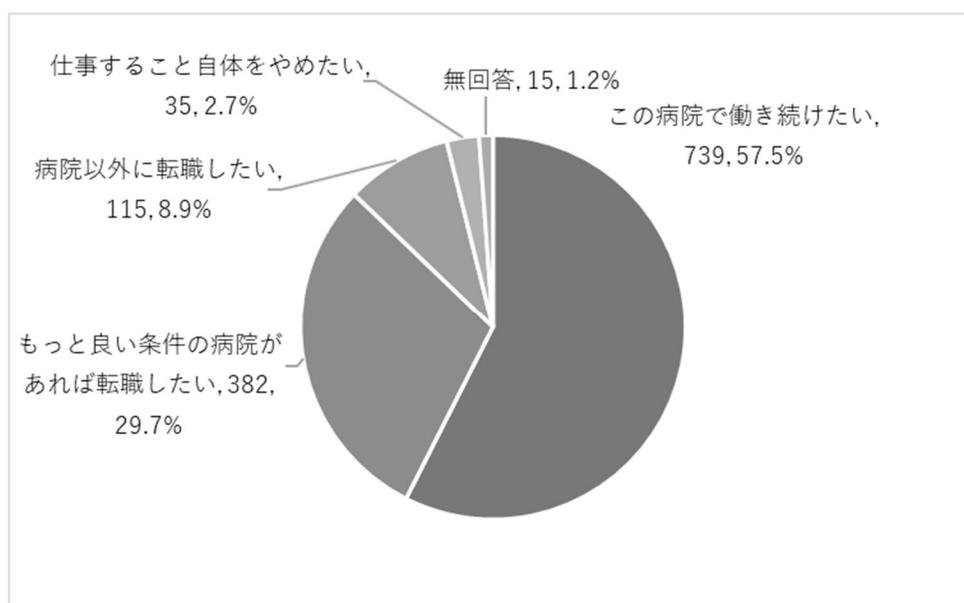


図 40 病院での勤務継続意向 (n=1,337)

表 69 何歳まで働きたいか (n=1,337)

	人数	割合
働けるうちはいつまでも	626	46.8%
80歳位まで	1	0.1%
75歳位まで	15	1.1%
70歳位まで	88	6.6%
65歳位まで	308	23.0%
60歳位まで	288	21.5%
無回答	11	0.8%

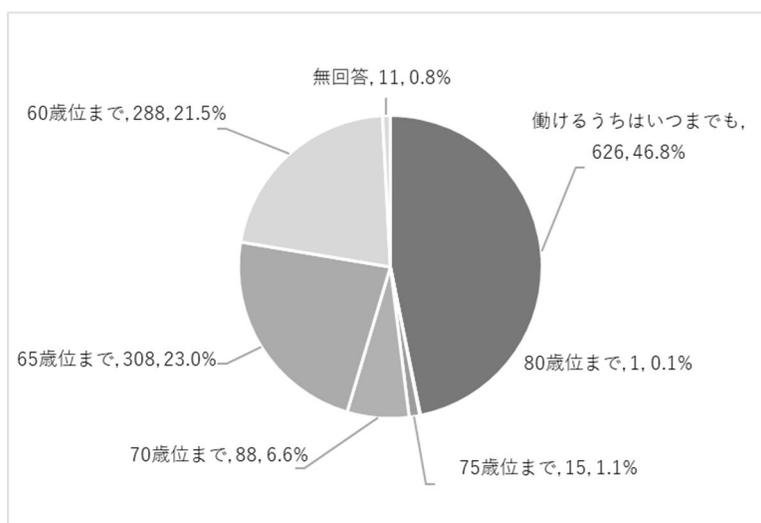


図 41 何歳まで働きたいか (n=1,337)

表 70 自由記載内容【病院内の意識改革が必要】

病院の組織風土を変えることが必要

病院の組織図では医師と看護課は並列だが、実際は違い、非常に風通しが悪い。医師の意識改善が必要。

患者に一番近い存在は看護補助者であると思い仕事をしているが、管理側、病院側はそういった認識がなく、軽んじられている。

資格を持たない看護補助者は病院の中では蔑まれている

介護施設に比べて、自分のスキルを発揮しにくいし、看護現場のサポートというよりも"看護師のお手伝いさん"的な空気を感じている者も多い。

17年頑張りましたが、何一つ変わりません。他人を否定することで自分を肯定することしか医療関係者はできないことをこの仕事をしてよくわかりました。

看護管理者がチーム医療の仲間としての働き方ができるようにさまざまな取り組みをしているが、なかなか浸透はしない

看護補助者業務を理解してほしい

病院に看護補助者が必要かわからない。同じ病棟内でも看護師と一緒にすることは殆どない

看護業務サポートスタッフの立場、業務内容を理解してもらいたい

病院管理職の方々にも看護補助者のことをもっと理解して頂きたい。

看護助手という資格を作るなど、看護助手という職種をもっと確立して欲しい

看護補助者という職名だが、職名を介護職に代えたほうが自覚を持って仕事に取り組める

看護補助者を下に見る看護師の意識を変えてほしい

多職種が働く外来ではお互いを尊重しているが、病棟では看護師が看護補助者を使用人扱にする

看護師がやりたくない仕事を押し付けているように感じる

看護補助者をスタッフの一員と思っている看護師は非常に少ない

多勢に無勢で白も黒に変えられる。看護師側の意識を変えてほしい

助手にさせておけば良いという考え方の看護師とは一緒に働けない

看護補助者が意見を伝える場や相談できる人が必要

意見や発言をしっかりと聞き入れ、考慮して欲しい。

業務上、人間関係などで困ったときに上司と話せる機会がほしい。

上司とのコミュニケーション(進言)が上手く出来ない場合もあるので、不満・改善点等の意見を出しやすくする処置があると良い。

次ページへ続く

前ページからの続き

異業種間で理解を深め協力することが大切だと思うので 看護助手として関わる他業種の方との意見交換の場があるとよい

残業なしの募集なので定時になったら看護師に残務を依頼する事も出来るが、看護師にも優先すべき業務があり実際には依頼し辛い。

表 71 自由記載内容【業務内容の明確化・調整を希望】

業務基準を作ってほしい

看護補助者にできる業務範囲を明確にしてほしい

負荷への対策を他施設と情報交換し、対策の基準を作ってほしい

部署により求められる事が違う。看護部が方針を決め、現場に合う業務内容を各師長に示してほしい

病棟科長によって考え方が違うため統一してほしい。

看護チームとして改善すべき課題がある

看護師同士の仲は良いが、仕事をしない看護師に注意がなされていない

看護師の中で業務への意識、取り組み姿勢が異なる

中間層の看護師が育たず、新人看護師への指導が曖昧になっている

看護師には適切な指示をしてほしい

看護師から明確な指示を得られないことが一番困る

看護師は看護補助者の仕事内容を理解していない

病棟によって、看護補助者に委譲する仕事が異なり、行うことができない業務内容を把握していない場合がある

看護補助者の人材確保が必要

十分な人員を確保して欲しいです。一人当りの負担が多すぎると思います。

とにかく忙しくてスタッフがイライラしている。患者様の笑顔を大切にしたいので スタッフ間の余裕がほしいです

ケアワーカーにとって、病院勤務は人気がない。現場は、マンパワーの減少で疲弊していきばかりである。

看護補助者の負荷が増えてきている

人員不足のため、負担が大きい。他部署への応援は負担。

人が増えないのに仕事量は増え、シーツ交換すら定期的にできない

看護補助者の体調・体力を考えて、仕事量・内容を調整してほしい

次ページへ続く

前ページからの続き

患者にも介助者にも負担の少ないよう設備を整えて欲しい

看護師からの依頼がはっきりなしにかかってくる

暴言、暴力、セクハラなどもあり、精神的にも肉体的にも負荷が大きい、やりがいも大きい

看護師との連携・協働が大切

急変時の対応が可能なように、入浴介助には看護師にも入ってほしい

食事介助、排泄介助、リハビリ出しなど行っている為、看護師との連携が必要である。

より良い実践を行いたい

看護職への確かなサポートができた時、心の中で「よっしゃー！」とガッツポーズをするほどやりがいのある仕事だと私は思っています

検査の見学希望 検査で必要物品を揃えるなど準備をしているが、どのように検査を行なっているかを見学し、必要のある準備だと納得し役立てたい。

サクシオンは医療処置なので看護補助者はできません。苦しそうな方がいても看護師さんと呼ばないないといけなく、すぐサクシオン出来ない事が辛いです。

入退院、薬の情報がわかるよう、看護補助者にもNsステーションのパソコンを使えるようにしてほしい

看護補助者同士の情報共有が禁止されていることには納得がいかない

皆の意識を高めたいが、コストばかり気にされてどうしてよいかわからない

表 72 自由記載内容【研修実施について】

受講機会

新人研修を充実してほしい

初日から、研修のないまま、患者さんと関わっての仕事だった。働きながら教えるのではなく、最初は何日間か研修して欲しかった。

全ての方が意識向上のため研修を受けるべきだと思う

院外の研修を受けようとしたが施設の介護福祉士しか参加できないと断られた。

休みの日はアルバイトなどをしているため、研修に参加できない

実施時間

研修受講時間を確保してほしい

外部研修は自分の休みに行くため、疲労感が抜けない

時間内での研修にして欲しい。eラーニングは勤務時間内にしてほしい。

次ページへ続く

前ページからの続き

研修が夕方から夜にかけての開催であり、子育て世代の女性が参加しづらい

実施内容

看護補助者の管理にも携わっているため、労務管理や人事評価の研修を受けたい

介護に関する研修（レクリエーション、コミュニケーションなど）を増やしてほしい

認知症の研修を受けたい

喀痰吸引研修に力を入れてもらいたい

基礎知識の研修を増やしてほしい

助手研修もあるが、毎年、ほぼ同じ内容で進歩がない。

フレイル、サルコペニア、ユマニチュード等でさえ、自分が進んで参加しないと学べない

個別介助を計画立案し実施出来るといった現場職員育成の研修に力を入れて頂きたい。

社会人としてのマナー研修が必要なスタッフが多くいる

研修体制

外部で受けられる研修が少なすぎる

他施設の看護補助者と交流できる研修があると良い

職種間の連携を図るため、共通認識できるような研修を、病院スタッフ全員で受ける機会が欲しい

チームワークについて、看護協会と介護協会の合同の研修

他部署の看護補助者の人たちとも時々コミュニケーションが取れ、情報収集にもなる。看護師さんとの話はないが、看護師さんとも機会があれば話し合う機会を持ってみたい。

ステップアップにつながる研修

病院で経験し、研修を受けたことを証明する、研修修了書などの制度を作ってほしい

看護助手に役立つ資格など推進して取れるようにしてほしい

介護福祉士の資格を取るために働きながら取得を目指したいと考えている。実務者研修の充実した場所で働きたいので、今働いている病院にもそう行った制度が欲しい。

施設のように喀痰吸引や経管栄養などの資格や社会福祉主事などの資格など取れたら良い

リハビリテーション認定介護士の資格が取得できる制度があれば、より良いケアが提供出来るように思う。

研修によるモチベーションアップ

看護補助者による介護研究を行っていることで、技術、考察力の向上が図れている

職場での看護補助者会の意見交換や研修が充実しているのでモチベーションに繋がっている。

研修もとても勉強になる。人との繋がりの大切さを患者やスタッフからも沢山学んだ。これからも頑張っていきたい。

表 73 自由記載内容【適切な人材の適切な条件での確保】

雇用条件の改善

正規雇用として採用してほしい

ある条件を満たしたら正規雇用に変更する制度を作してほしい

正規雇用者と非正規雇用者で仕事内容に区別がないことに不満が出ている

人材の質担保

能力評価も必要

人手不足だからと思いやりもない人を来るもの拒まず雇うようでは、暴言や暴力が増え、質が下がるばかりだ。

地域が協力して人材育成

地域も協力して介護の研修をもっと身近にでき、就職をサポートしてくれる事が出来たら良い

表 74 自由記載内容【処遇について】

休日の確保

有給休暇を消化できるようにしてほしい

半休制度を設けてほしい

人手が足りたいため、休みの申請がしづらい

休みを取りやすくしてほしい

シフト作成の際、休みの希望を入れさせて欲しい。

休日を確保し、子供と一緒にいられる時間をつくりたい

歓迎会などで休みの日に出勤するのは嫌だ。 公休は完全にプライベートに使わせてほしい

給与・手当を上げてほしい

給与ではどこの病院もだいたい同じくらいだが、仕事内容からすると納得できない

夜勤手当込みでないと生活出来ない

やりがいのあるこの仕事を、もっと気持ちにも金銭的にも余裕をもってできる待遇になれば良い

夜勤に毎月6回入っても、手取りが20万円に届かない。給与を上げてほしい

地域包括病棟は、仕事内容や仕事量が違うから、その分の手当てをつけてほしい

感染症病棟には、危険手当を付けてほしい

ICU 手当を、看護職同様に看護助手にも付けて欲しい

遅出手当（残業代、交通費など）の見直し 処遇改善して欲しい。

（施設の）処遇改善手当に変わるものを支給して頂きたい

次ページへ続く

前ページからの続き

リーダー的業務を指示されやっているのだから、それにみあった手当てをつけてほしい。

ボーナスが出ないため、私達も頑張ってるのに...と思ってしまう

能力や経験に見合った給与にしてほしい

昇給制度を設けてほしい。

給与に関する取り決めが曖昧なため、不信感がある。

取得資格・作業能力に応じた給与制度を導入してほしい。

業務内容が同じであれば、同じような処遇にしてほしい。

年齢が上がるにつれて夜勤が辛くなることは当然なので年齢、経験年数によつての処遇改善
実力・負担と給与額に連動がない。逆転していることもあることが不満につながっている。

定年後の雇用条件を改善してほしい

60才定年後、65才まで契約職員として働けるが、同じ仕事を続けていて処遇が変わってしまう。
仕事の能力で個々に対応してもらいたい

嘱託職員の年齢制限が看護師と看護助手で違う

福利厚生への要望

メンタルケア、ストレスについての対策を行ってほしい

寮があると働き続けやすい

病児保育があれば働きやすい

ケアの質を維持するために改善してほしい

時間や精神的な拘束が多く、それらが原因で事故がおきており、国レベルでの対応を望む。

質の良い介護、後悔のない最後を迎えられるように。私達にも出来ることは沢山あると思う。
それには国の力が必要。

看護補助者自身、プライドがなく、向上心がないため、いつまでも信頼されない。(とはいえ)
世間がまるっきり看護補助者を尊敬しないと、やる気などでない。

業務内容や責任の重さの割に賃金は低く、働く楽しみがない。

看護補助者の保険があれば良いと思う

半ば諦めて、仕事に対して意識が低くなっている同僚も多い。処遇を見直し、意識向上できる
などの人材育成が必要

表 75 自由記載内容【評価とキャリアプラン】

適正な人事考課の実施と処遇との連動

評価制度があるが、結局は上司のお気に入りの職員しか評価されない。モチベーションも落ちるし、上司として尊敬は出来無い。

能力を評価してもらえないから頑張っている人が損をする。だから、頑張らない人が増える。悪循環。

長く頑張っている職員に対しては、その努力を汲み取って評価して欲しい。

経験年数や能力の評価で昇給等があれば一人ひとりのやりがいに繋がると思う

業務内容を明示されているのに、最低限の業務や、自ら選り抜きした業務しか行わない従業員にたいして指導を行って欲しい。モチベーションが下がってしまう

処遇クラス分けを明確にしてもよいかも知れない

キャリアプランが描けない

日々繰り返しのなかで進歩を感じられない。資格を取りそれを生かせる場があれば、患者さんと関わる事も増え、もう少し充実感を得られるのではないかと思う。

今働いている病院では、これ以上の資格を必要としていない。

看護補助者間で仕事へのモチベーションに差がある

看護師に嫌な仕事を押し付けられないように、看護師に媚びる看護補助者いることは悲しい
パートだからと責任はないと仕事に対して いい加減な働きをする人もいる

看護補助者自身、プライドがなく、向上心がないため、いつまでも信頼されない。